

第5回円山川流域懇談会（令和7年度開催）

令和8年2月16日

資料2

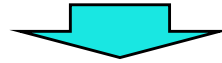
# 円山川水系河川整備計画の 進捗点検について

国土交通省 近畿地方整備局  
豊岡河川国道事務所

# 1. 進捗点検の考え方

## 河川管理者

- 河川整備計画の実施内容について、進捗状況や効果を点検し、とりまとめを実施



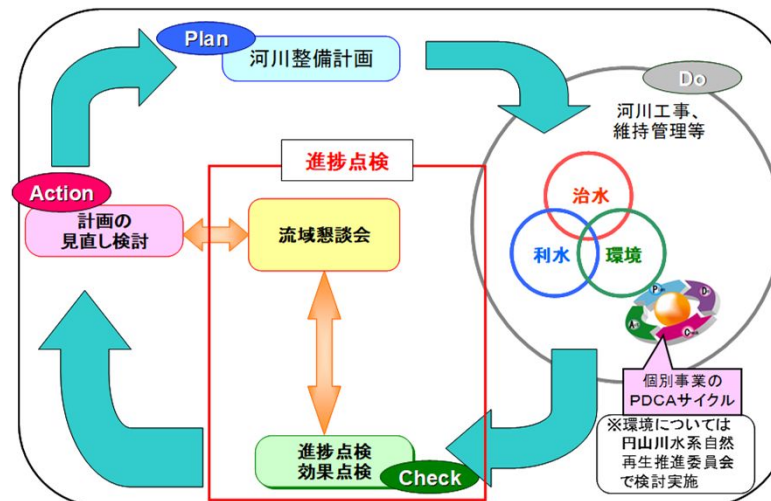
## 円山川流域懇談会の開催

- 河川管理者が実施した進捗点検結果を、円山川流域懇談会で報告。
- 必要に応じて、個別事業の進捗状況について説明。
- 3年を1サイクルとして、進捗状況（点検結果）に対し、経年的な視点も含めて意見を述べる。



## 河川管理者

- 流域懇談会の意見を踏まえて、今後の個別事業の実施において改善等を検討。



## 2. 流域懇談会の進め方について

### 【進捗点検結果のとりまとめ】

- 河川管理者は毎年度、各事業の進捗点検の結果についてとりまとめます。

### 【3年毎の詳細な進捗点検】

- 流域懇談会(公開)の開催は、3年毎に1サイクルとし、これまで平成25、28年、令和元年度、令和4年度にご審議いただいています。今年度は、令和4年～令和6年度分における事業の進捗状況や点検結果に関するご意見を伺います。
- 河川管理者がとりまとめた各事業の進捗点検の結果について、委員の方々からご意見を伺い、次年度以降の事業に反映させます。

### 【事業実施報告会】

- 3年毎の詳細な進捗点検以外の年は、事業実施報告会(非公開)を開催し、事業の実施状況等に関し委員の方々からご意見を伺います。
- 令和5年度からは3名の委員により事業実施報告会を開催しています。

### 【現地視察】

- 必要に応じて現地視察を行い、当年度までの事業の実施状況や次年度以降の実施予定箇所を確認していただきます。

	H24年度	H25年度 (1年目)	H26～27年度 (2～3年目)	H28年度 (4年目)	H29～30年度 (5～6年目)	R1年度 (7年目)	R2～R3年度 (8～9年目)	R4年度 (10年目)	R5～R6年度 (11～12年目)	R7年度 (13年目)
河川管理者	整備計画策定 (H25.3)	進捗点検結果 とりまとめ	進捗点検結果 とりまとめ	進捗点検結果 とりまとめ	進捗点検結果 とりまとめ	進捗点検結果 とりまとめ	進捗点検結果 とりまとめ	進捗点検結果 とりまとめ	進捗点検結果 とりまとめ	進捗点検結果 とりまとめ
円山川 流域懇談会		流域懇談会設立	事業実施報告会 + 現地視察	第2回流域懇談会 + 現地視察	事業実施報告会 + 現地視察	第3回流域懇談会 + 現地視察	事業実施報告会 + 現地撮影動画	第4回流域懇談会 + 現地視察	事業実施報告会 + 現地視察	第5回流域懇談会

※R2～3は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から現地視察は行わず、ドローン撮影による動画を用いて確認した。

### 3. 進捗点検の項目と区分

● 円山川水系河川整備計画の進捗点検の項目と点検区分

分野	点検項目の数	点検区分の数	
		A区分	B区分
治水	13	12	1
利水	4	3	1
環境	16	10	7
維持管理	13	12	5
地域連携	2	2	1
合計	48	39	15

※ 複数の点検内容のある点検項目があるため、点検項目数と点検区分数は一致しない。

- 円山川水系河川整備計画の進捗点検の項目数は48である。
- A区分：達成度（進捗率）を数値化できるもの（39項目）
- B区分：達成度を数値化して表せないもの（15項目）
- 具体の点検項目は次のページに表示した。
- なお、説明を行う点検項目は、令和4～6年度に整備を実施したものの中から特徴的なものを対象とした。

## 4. 進捗点検シートの見直し

- 河川整備計画策定後12年が経過し、整備が進捗したことにより、点検シートの点検指標等の見直しを行った。具体的な見直し内容は以下のとおり。

点検シート	点検事項	見直し内容	反映した頁
治水-2	円山川下流部無堤対策【ひの其他地区】	堤防整備に伴う県道嵩上げのうち、国施行部分を点検指標に追加する。	P8
治水-6	円山川上流部無堤対策【鶴岡地区、日置地区】	各地区で整備が進捗したため、点検シートを、【鶴岡地区】(治水-6-1)と【日置地区】(治水-6-2)の2シートに分割し、点検項目として排水樋門整備等の整備状況を追加する。	P12 鶴岡地区 P13 日置地区
治水-8	中郷遊水地整備	下池と上池で整備が進捗したため、点検シートを下池(治水-8-1)と上池(治水-8-2)の2シートに分割し、点検指標として、越流堤整備、排水樋門整備を追加する。	P15 下池 P16 上池

# 5. 進捗点検内容

河川整備計画の目次		No	指標番号	点検事項	点検項目	点検区分	資料頁
4.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項		1	治水-1	洪水等による災害の発生の防止又は軽減	流下能力	A	7
4.1.1 外水対策に関する事項	1) 堤防整備 (1) 下流部無堤対策	2	治水-2	円山川下流部無堤対策【ひの其他地区】	堤防施工延長	A	8
		3	治水-3	円山川下流部無堤対策【戸島地区】	堤防施工延長	A	9
		4	治水-4	円山川下流部無堤対策【瀬戸・津居山地区】	堤防施工延長	A	10
		5	治水-5	稲葉川合流部無堤対策【日高地区】	堤防施工延長	A	11
	(2) 上流部無堤対策	6	治水-6-1	円山川上流部無堤対策【鶴岡地区】	堤防施工延長	A	12
		7	治水-6-2	円山川上流部無堤対策【日置地区】	堤防施工延長	A	13
		8	治水-7	堤防の質的強化対策	堤防施工延長	A	14
	2) 洪水時の河道水位	9	治水-8-1	中郷遊水地整備【下池】	掘削土量、堤防施工延長	A	15
		10	治水-8-2	中郷遊水地整備【上池】	掘削土量、堤防施工延長	A	16
		11	治水-9-1	内水対策	地域との調整状況	B	17
4.1.2 内水対策に関する事項		12	治水-9-2	内水対策	河川法施行令第2条7号に基いて整備した河川の、管理者への引き渡し状況	A	18
4.1.3 地震・津波対策に関する事項		13	治水-10	地震対策	河川管理施設の照査の実施状況、耐震対策の実施状況	A	19
		14	治水-11	津波対策	河川管理施設の津波影響検討の実施状況、津波対策の実施状況	A	20
		15	治水-12	治水対策全体	外水対策、内水対策、地震・津波対策	A	21～22
4.2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項							—
	1) 適切な流水管理	16	利水-1	適切な流水管理	指導状況	A	23
		17	利水-2	適切な流水管理	水利用の実態及び水需要を踏まえた適正な水利権許可	A	24
	3) 渇水への対応	18	利水-3	渇水対応	渇水発生状況と関係機関との協議状況	B	25
		19	利水-4	利水対策全体	正常流量の確保	A	26
4.3 河川環境の保全と整備に関する事項							—
4.3.1 特徴的な自然環境の保全・再生に関する事項		20	環境-1	ヨシ原の再生【下鶴井地区】	整備面積、ヨシ原再生状況	A	27
4.3.2 湿地環境の再生に関する事項		21	環境-2-1	大規模湿地再生【加陽地区】	整備面積	A	28～29
	2) 河道改修にあわせた環境の再生・保全	22	環境-2-2	河道改修にあわせた環境の再生・保全【中郷遊水地】	整備面積	A	30
	3) 湿地再生	23	環境-3	湿地の質的改良	整備延長	A	31～32
	1) 大規模湿地の再生	24	環境-4	外来植物の侵入抑制【加陽地区】	侵入抑制対策実施状況	B	33
4.3.3 水生生物の生態を考慮した河川の連続性確保に関する事項		25	環境-5	上下流の連続性の改善	魚道の設置・改善の指導状況	A	34
	2) 合流部の落差解消（流域との連続性の改善）	26	環境-6	合流部の落差解消	落差解消数、指導状況	A	35
4.3.4 モニタリングに関する事項		27	環境-7-1	モニタリング（連携）	モニタリング状況	B	36
		28	環境-7-2	モニタリング（河川水辺の国勢調査）	モニタリング状況	B	37～39
4.3.5 河川景観に関する事項		29	環境-8-1	河川景観の保全	写真撮影状況	B	40
		30	環境-8-2	河川景観の保全	写真撮影状況	B	41～42

# 5. 進捗点検内容

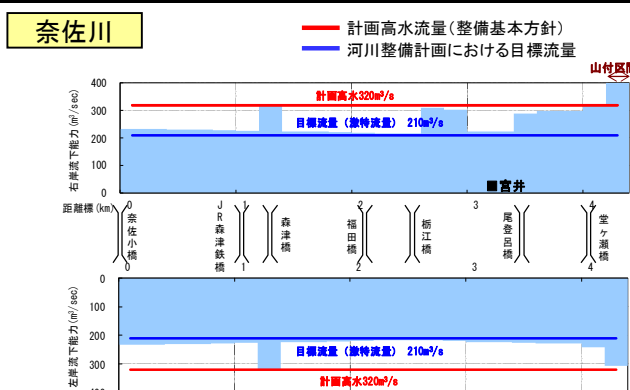
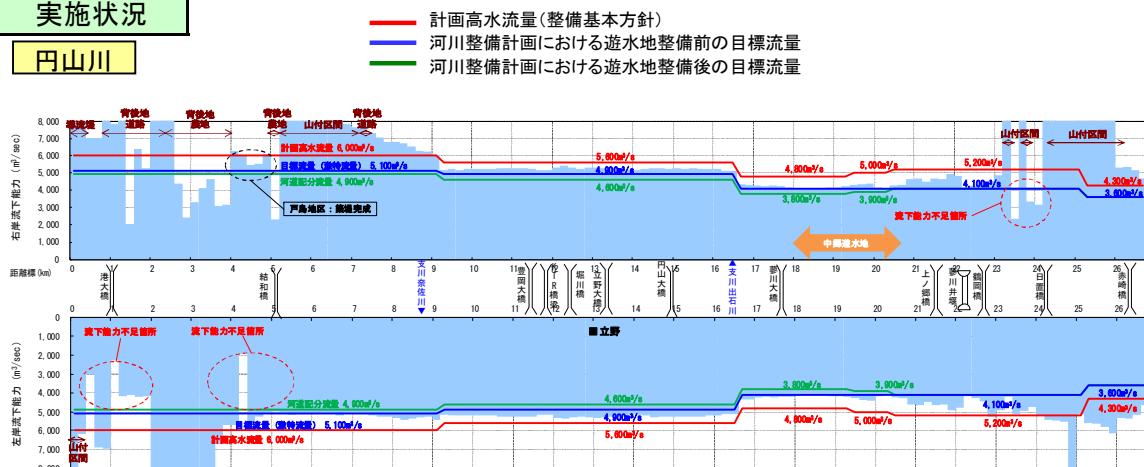
河川整備計画の目次		No	指標番号	点検事項	点検項目	点検区分	資料頁
4.3.6 河川水質に関する事項	1) 河川水質	31	環境-9	河川水質	水質観測地点のBOD	A	43
		32	環境-10	水生生物調査	小学校等との協働状況	A	44
	2) 水質事故	33	環境-11	水質事故	関係機関との協議状況、水質事故訓練状況	A	45
		34	環境-12	水質事故	水質事故状況	B	46
	35	環境-13	環境対策全体	特徴的な自然環境や湿地環境の保全・再生及び河川の連続性確保	A	47	
4.4 河川の維持管理に関する事項							—
4.4.1 河川管理施設等の維持管理に関する事項	1) 堤防、護岸等の管理	36	管理-1-1	堤防、護岸等の管理	堤防点検状況	A	48
		37	管理-1-2	堤防、護岸等の管理	巡視状況	A	49
		38	管理-2	堤防除草	堤防除草実施状況、コスト縮減状況	A	50
	2) その他の河川管理施設(水門、樋門、樋管、排水機場等)	39	管理-3	河川管理施設の管理	点検状況、長寿命化計画の作成状況	A	51
		40	管理-4	河川管理施設の管理	研修会・訓練等の開催状況	A	52
		41	管理-5	河川管理施設の管理	遠隔監視・操作化の状況、自動制御化の状況	A	53
4.4.2 河川区域の管理に関する事項	1) 河道内樹木の管理	42	管理-6	河道内樹木の管理	樹木伐採量、伐採樹木の利用状況	A B	54
4.4.2 河川区域の管理に関する事項	2) 河道内堆積土砂の管理	43	管理-7	河道内堆積土砂の管理	堆積土砂撤去量、モニタリング状況	A B	55
	3) 不法行為等の防止	44	管理-8	不法行為等の防止	啓発活動実施状況	A	56
4.4.3 河川の情報提供等に関する事項	1) 防災情報の提供	45	管理-9	防災情報の提供	情報提供状況	A B	57
4.4.3 河川の情報提供等に関する事項	3) 危機管理対策	46	管理-10	危機管理対策	地域住民や自治体との連携状況	A	58
4.4.4 河川空間の利用に関する事項		47	管理-11	河川空間の利用	看板等による情報提供状況、広報等の取り組み状況	A B	59
		48	管理-12	河川空間の利用	河川の利用状況	B	60
4.5 地域との連携に関する事項							—
4.5.1 コウノトリの野生復帰への取り組みに関する事項		49	地域-1	コウノトリの野生復帰への取り組み	関係機関や地域住民との連携状況	A	61
4.5.2 河川の愛護活動に関する事項		50	地域-2	河川愛護活動	アドプト制度の導入状況	A B	62

点検事項等	洪水等による災害の発生防止又は軽減
点検項目	流下能力
点検指標	整備目標流量達成延長

施策の概要

- ・河川整備計画で位置づけている外水対策を実施することにより、平成16年台風第23号と同規模の洪水に対して家屋等の浸水被害の軽減を図る。
- ・外水対策の進捗状況を流下能力により評価する。

実施状況



整備目標流量達成延長

河川名	左右岸	必要延長 (km)	達成延長(km)					達成率(%)				
			H25時点	H27時点	H30時点	R3時点	R6時点	H25時点	H27時点	H30時点	R3時点	R6時点
円山川	右岸	17.1	15.7	16.7	16.7	16.7	91.8%	97.4%	97.4%	97.4%	99.2%	
	左岸	25.6	18.6	19.1	20.2	23.4	72.8%	74.7%	79.0%	91.5%	93.0%	
奈佐川	右岸	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	左岸	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
出石川	右岸	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	左岸	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
合計		66.5	58.1	59.6	60.7	63.9	64.6	87.4%	89.6%	91.2%	96.0%	97.1%

※背後地が農地等による堤防不要箇所は必要延長に含まない。

※奈佐川、出石川は平成25年度に達成率が100%

※円山川については遊水地整備後の目標流量に対する達成率である。

点検結果

- ・ひの其他地区(来日川合流部)の堤防整備が進捗したことから、円山川の整備目標流量達成率は97.1%に向上した。(令和3年度時点は96.0%)
- ・引き続き、円山川下流部左岸・円山川上流部の無堤対策及び中郷遊水地整備を進めていく。

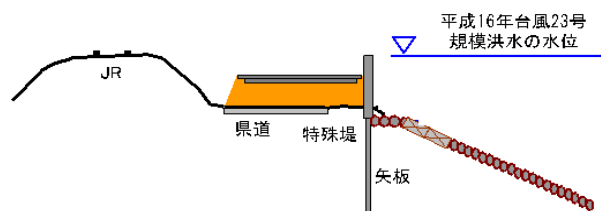
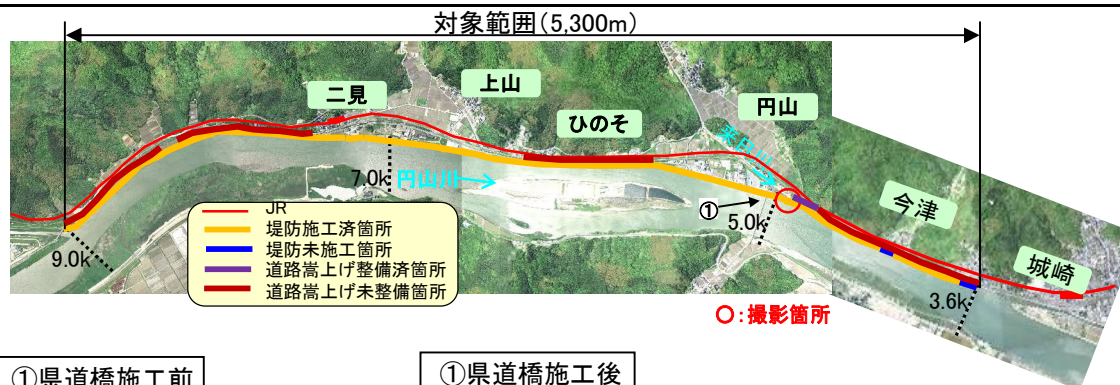
点検事項等	円山川下流部無堤対策【ひのそ地区】
点検項目	堤防施工延長
点検指標	①堤防整備の進捗率 ②道路嵩上げ

施策の概要

- ・円山川下流部左岸の無堤対策として特殊堤による堤防整備を行う。
- ・城崎大橋から奈佐川合流部までの左岸区間(5,300m)において、整備目標である平成16年台風第23号と同規模の洪水の水位に対して堤防整備を実施する。

実施状況

実施内容 (計画値)	進捗状況(進捗率)				
	H25時点	H27時点	H30時点	R3時点	R6時点
延長: 5,300m	整備済: 648m (12%)	整備済: 1,146m (22%)	整備済: 2,057m (39%)	整備済: 4,935m (93%)	整備済: 4,996m (94%)
道路嵩上げ 延長 3,570m	整備済: 0m (0%)	整備済: 0m (0%)	整備済: 0m (0%)	整備済: 0m (0%)	整備済: 135m (4%)



①県道橋施工前



①県道橋施工後



点検結果

- ・来日川合流部の堤防整備と道路嵩上げが進捗し、奈佐川合流部～来日川合流部間の堤防整備が完了した。
- ・今津川合流部、最下流部の堤防整備および県道嵩上げについて、JR・道路管理者等の関係機関と協議を進め、早期完成を目指す。

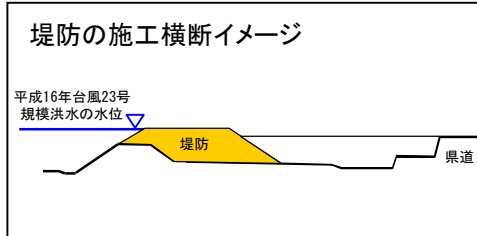
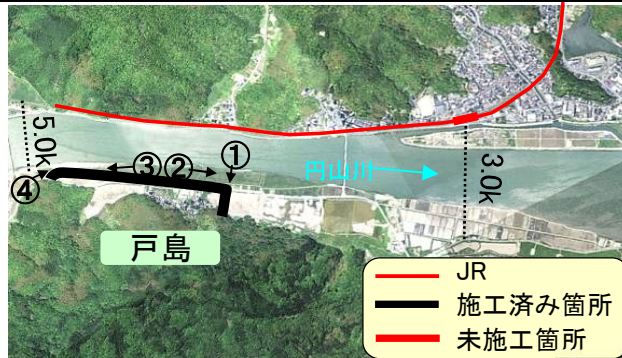
点検事項等	円山川下流部無堤対策【戸島地区】	<b>完了</b>
点検項目	堤防施工延長	
点検指標	堤防整備の進捗率	

施策の概要

- ・円山川下流部右岸の無堤対策として土堤による堤防整備を行う。
- ・平成16年台風第23号と同規模の洪水の水位に対して、戸島地区の家屋浸水の軽減のため、延長1,060mの堤防整備を実施する。

実施状況

実施内容 (計画値)	進捗状況(進捗率)	
	H25時点	H27時点
計画堤防延長 1,060m	整備済:0m (0%)	整備済:1,060m (100%)



施工前



施工後



点検結果

- ・平成27年度までに戸島地区堤防整備は完了した。

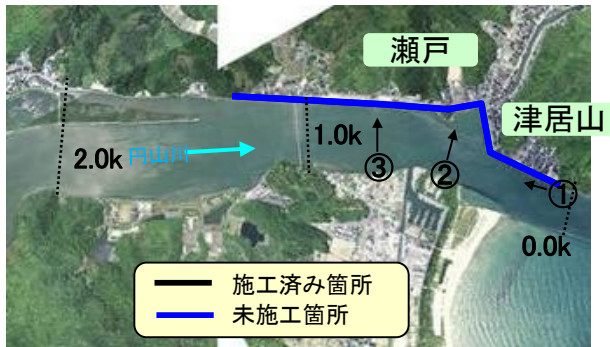
点検事項等	円山川下流部無堤対策【瀬戸・津居山地区】
点検項目	堤防施工延長
点検指標	堤防整備の進捗率

施策の概要

・円山川下流部左岸の無堤対策として、整備計画目標である平成16年10月洪水(台風第23号)と同規模の洪水の水位に対して、瀬戸・津居山地区の家屋浸水を軽減するための延長1,700mの堤防整備を実施する。

実施状況

実施内容 (計画値)	進捗状況(進捗率)				
	H25時点	H27時点	H30時点	R3時点	R6時点
計画堤防延長 1,700m	堤防延長:0m (0%)	堤防延長:0m (0%)	堤防延長:0m (0%)	堤防延長:0m (0%)	堤防延長:0m (0%)



点検結果

・漁港部の漁労活動を考慮し、堤防位置や構造に関する検討及び地元調整を実施している。  
 ・引き続き、河川管理者、港湾管理者、港湾利用者の三者で協議し、早期着手に向けた検討を進めていく。

点検事項等 稲葉川合流部無堤対策【日高地区】

点検項目 堤防施工延長

点検指標 堤防整備の進捗率

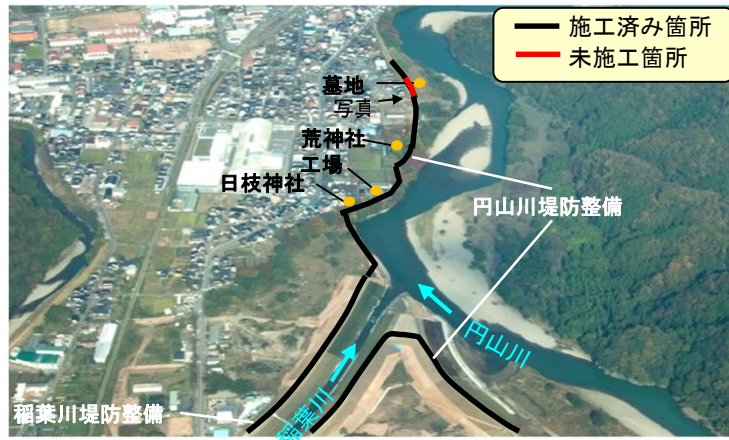
施策の概要

・兵庫県による稲葉川上流部の整備や背後地で実施している豊岡市土地区画整理事業と一体的に堤防整備を行う。

実施状況

実施内容 (計画値)	進捗状況(進捗率)				
	H25時点	H27時点	H30時点	R3時点	R6時点
計画堤防延長 1,384m	整備済:660m (48%)	整備済:660m (48%)	整備済:1,094m (79%)	整備済:1,307m (94%)	整備済:1,307m (94%)

※計画堤防延長の1,384mは、稲葉川の堤防を含まない。



施工前

R3.11.01撮影



施工後

R7.03.21撮影



点検結果

- ・墓地前面の暫定堤防整備を実施した。HWL以上の堤防高を確保できている。
- ・引き続き、堤外に位置する墓地の用地取得に向けて地元関係者と協議・調整を進めていく。

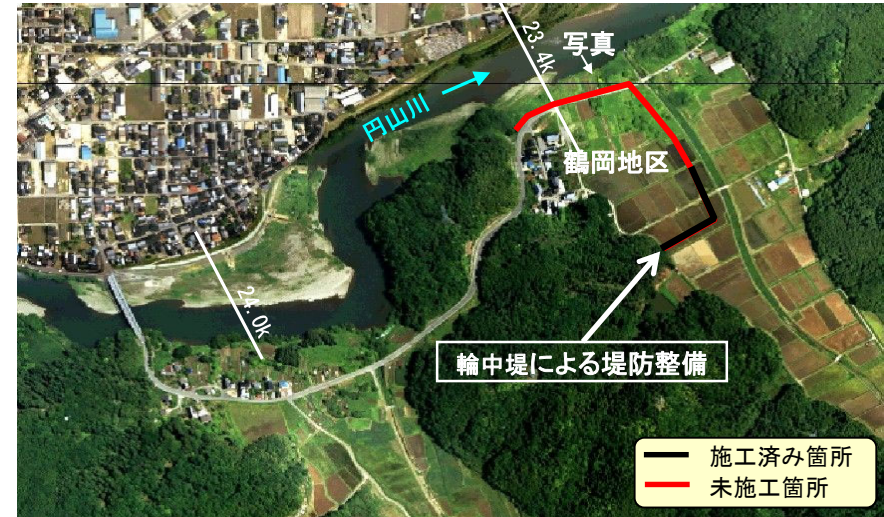
点検事項等	円山川上流部無堤対策【鶴岡地区】 ※【鶴岡地区】と【日置地区】の2シートに分離
点検項目	堤防施工延長
点検指標	①堤防整備の進捗率 ②用地買収の進捗率 ③排水樋門整備

施策の概要

・住家を洪水による氾濫から防御するための効率的かつ効果的な治水対策として輪中堤による堤防整備を行う。

実施状況

実施内容 (計画値)	進捗状況(進捗率)			
	H25時点	H30時点	R3時点	R6時点
計画堤防延長 560m	整備済 0m(0%)	整備済 0m(0%)	整備済 0m(0%)	整備済 183m(33%)
用地買収面積 27,000m <sup>2</sup>	用地買収面積 0m <sup>2</sup> (0%)	用地買収面積 8,567m <sup>2</sup> (32%)	用地買収面積 20,467m <sup>2</sup> (76%)	用地買収面積 20,467m <sup>2</sup> (76%)
排水樋門整備	未整備	未整備	未整備	未整備



点検結果

- ・用地買収が完了した箇所の堤防整備を行い、堤防整備の進捗率は33%に向上した。
- ・引き続き、早期の堤防完成のため、地元調整を進めていく。

点検事項等 円山川上流部無堤対策【日置地区】※【鶴岡地区】と【日置地区】の2シートに分離

点検項目 堤防施工延長

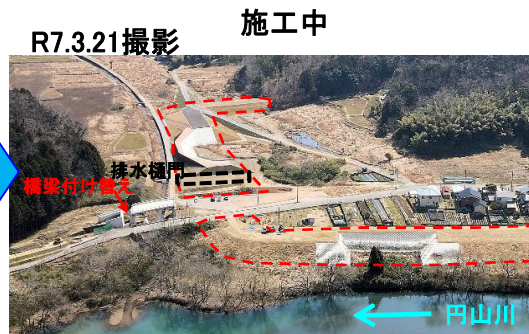
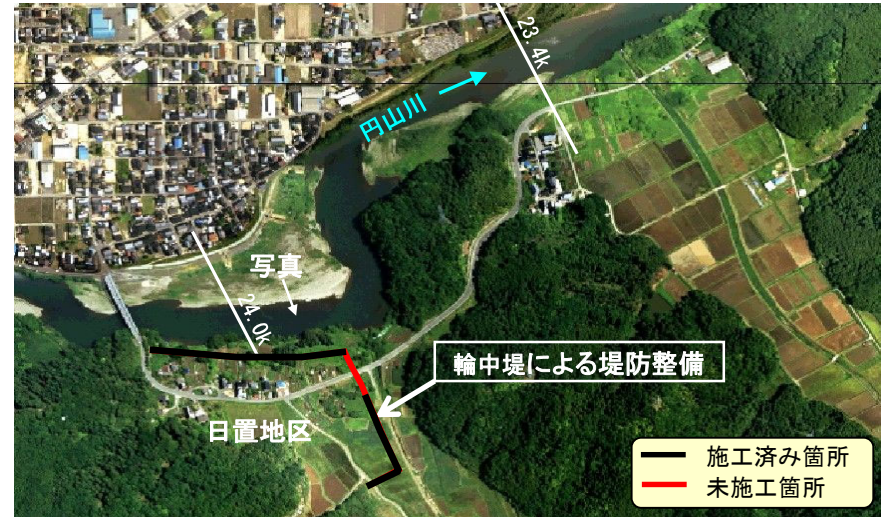
点検指標 ①堤防整備の進捗率 ②排水樋門整備 ③橋梁付け替え

施策の概要

・住家を洪水による氾濫から防御するための効率的かつ効果的な治水対策として輪中堤による堤防整備を行う。

実施状況

実施内容 (計画値)	進捗状況(進捗率)			
	H25時点	H30時点	R3時点	R6時点
計画堤防延長 570m	整備済 0m(0%)	整備済 364m(64%)	整備済 364m(64%)	整備済 490m(86%)
排水樋門整備	未整備	未整備	未整備	未整備
橋梁付け替え	未整備	未整備	未整備	整備中



点検結果

- ・用地買収が完了した箇所の堤防整備を行い、堤防整備の進捗率は86%に向上した。
- ・堤防整備に伴う向日置橋の付替え整備中である。
- ・引き続き、早期の堤防完成のため、地元調整を進めていく。

点検事項等	堤防の質的強化対策
点検項目	堤防施工延長
点検指標	堤防整備の進捗率

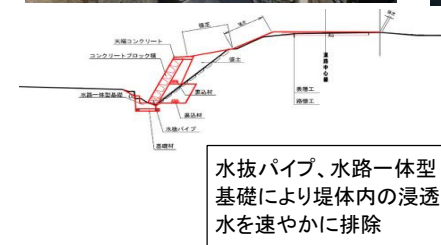
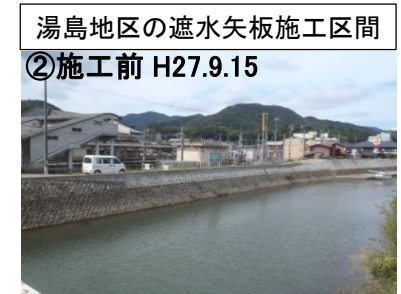
完了

**施策の概要**

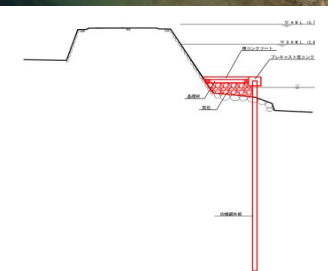
・堤防の土質構成から浸透に対する安全性が不十分な区間が存在するため、堤防の質的強化によって決壊に対する安全性の向上を図る。

**実施状況**

実施内容 (計画値)	進捗状況(進捗率)	
	H25時点	H27時点
計画延長:4,879m	施工済み:3,781m(77%)	施工済み:4,879m(100%)



ドレーン工横断面図



遮水矢板工横断面図

**点検結果**

・平成27年度までに河川整備計画で予定していた堤防の質的強化は完了した。

点検事項等	中郷遊水地整備【下池】 ※下池と上池でシートを分けて記載
点検項目	掘削土量、堤防施工延長
点検指標	①遊水地掘削の進捗率 ②堤防整備の進捗率(囲繞堤) ③越流堤整備 ④排水樋門整備

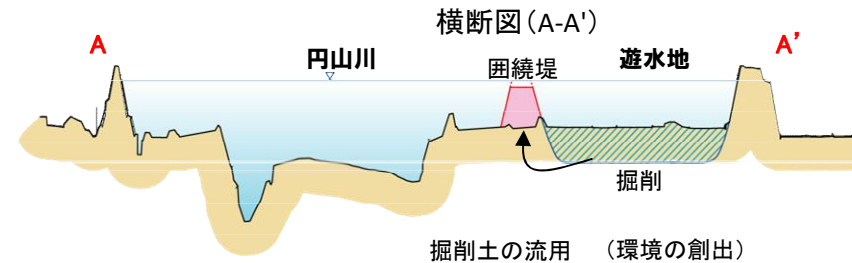
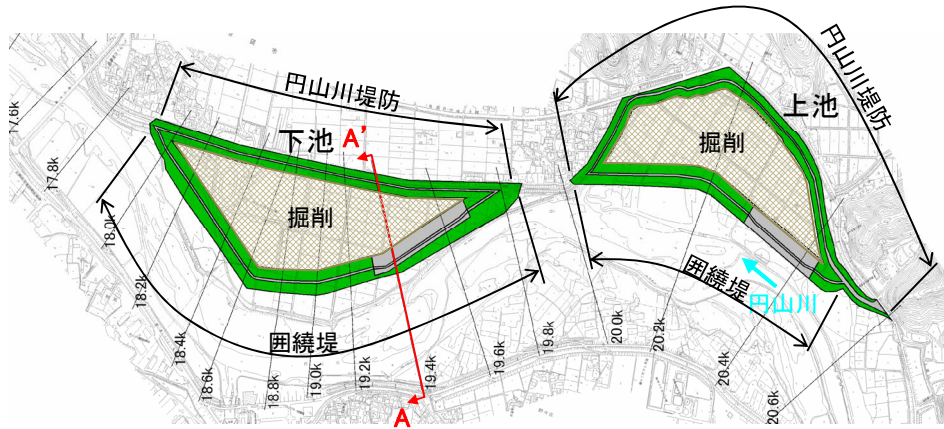
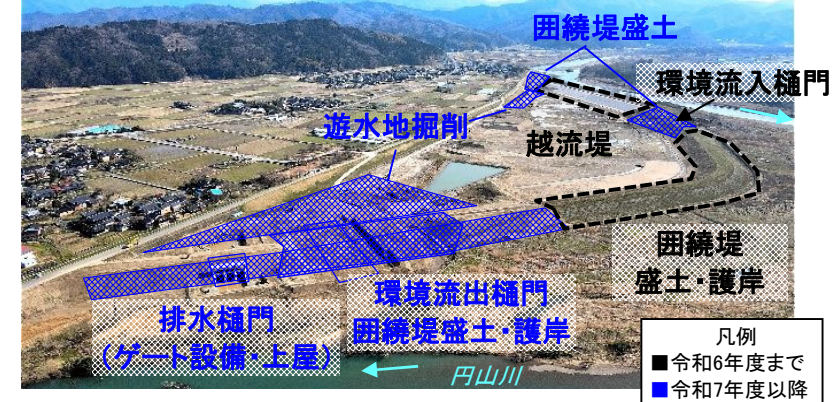
施策の概要

・円山川下流部や豊岡市街地の河道水位の低減を図るため、豊岡市街地の直上流の河道内に存在する農地や運動公園を中郷遊水地として整備する。

実施状況

実施種類	計画値	進捗状況(進捗率)				
		H25時点	H29時点	R3時点	R6時点	
下池	遊水地掘削	500,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup> (0%)	0 m <sup>3</sup> (0%)	151,800 m <sup>3</sup> (30%)	268,700 m <sup>3</sup> (54%)
	囲繞堤延長	1,200 m	0 m (0%)	0 m (0%)	912 m (76%)	1,109 m (92%)
	越流堤整備	一式	未整備	未整備	未整備	完了
	排水樋門整備	一式	未整備	未整備	未整備	整備中

中郷遊水地(下池)  
R7.3.21撮影



点検結果

- ・遊水地掘削、囲繞堤整備の進捗率は54%、92%に向上した。
- ・越流堤防整備が完了した。
- ・事業効果の早期発現のため下池を先行整備しており、引き続き、遊水地掘削、囲繞堤、排水樋門、環境流出樋門の整備を進めていく。

点検事項等	中郷遊水地整備【上池】 ※下池と上池でシートを分けて記載
点検項目	掘削土量、堤防施工延長
点検指標	①遊水地掘削の進捗率 ②堤防整備の進捗率(囲繞堤) ③越流堤整備 ④排水樋門整備

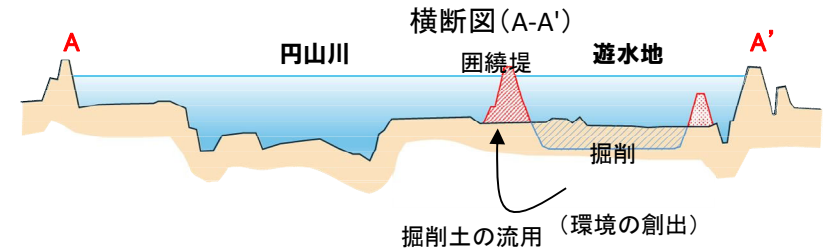
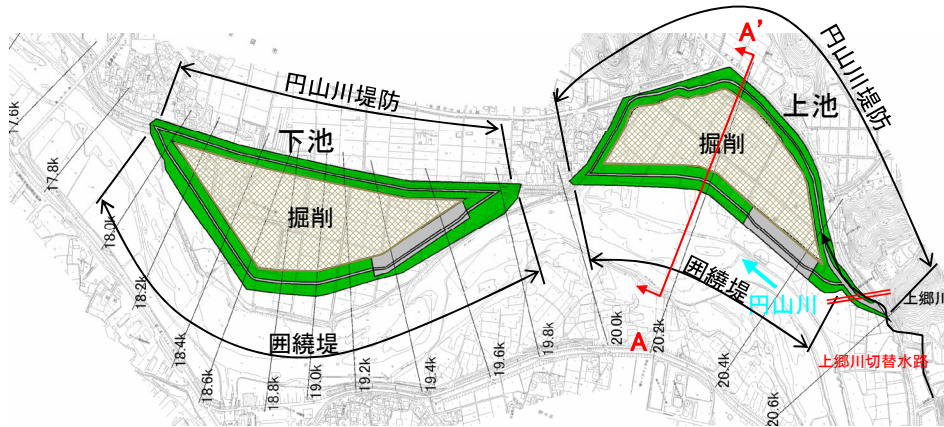
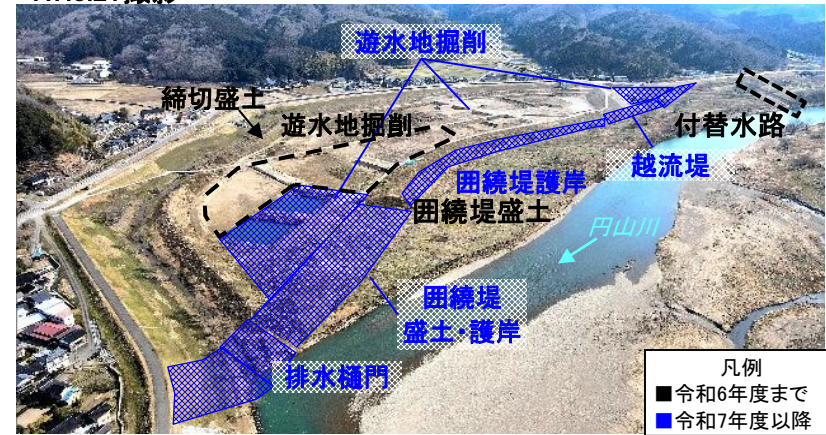
施策の概要

・円山川下流部や豊岡市街地の河道水位の低減を図るため、豊岡市街地の直上流の河道内に存在する農地や運動公園を中郷遊水地として整備する。

実施状況

実施種類	計画値	進捗状況(進捗率)				
		H25時点	H29時点	R3時点	R6時点	
上池	遊水地掘削	230,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup> (0%)	0 m <sup>3</sup> (0%)	49,600 m <sup>3</sup> (22%)	141,700 m <sup>3</sup> (62%)
	囲繞堤延長	800 m	0 m (0%)	0 m (0%)	70 m (9%)	313 m (39%)
	越流堤整備	一式	未整備	未整備	未整備	未整備
	排水樋門整備	一式	未整備	未整備	未整備	未整備

中郷遊水地(上池)  
R7.3.21撮影



点検結果

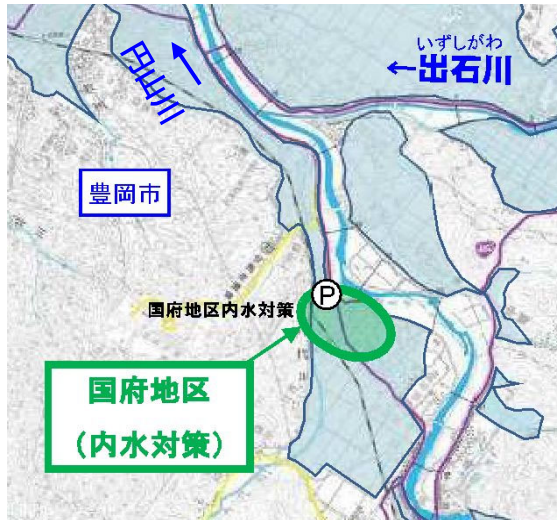
- ・遊水地掘削、囲繞堤整備の進捗率は62%、39%に向上した。
- ・中郷遊水地内に流入している上郷川を洪水時に円山川へ排水するための切替水路を整備した。
- ・引き続き、遊水地掘削、囲繞堤、越流堤、排水樋門の整備を進めていく。

点検事項等	内水対策
点検項目	地域との調整状況
点検指標	対策の検討状況・地元等との協議状況

施策の概要

・兵庫県及び豊岡市と連携し、地域と調整を図り、家屋の床上浸水被害解消を目的とした対策を行う。  
 (内水対策の対象は国府地区のみであり、同地区では平成16年度より着手した河川激甚災害対策特別緊急事業(激特事業)において、内水ポンプ(33m<sup>3</sup>/s)の増設は完了しているが、河川整備計画においてポンプ以外の整備を行う。

実施状況



点検結果

- ・国・兵庫県・豊岡市にて内水対策を検討し、内水を八代排水機場へ導水するための改良工事を兵庫県が令和6年度に実施済み。
- ・引き続き、国・県・市と連携し、改良工事の効果を検証しつつ、内水対策を進めていく。

点検事項等	内水対策
点検項目	河川法施行令第2条7号に基づいて整備した河川の管理者への引き渡し状況
点検指標	管理者への河川引き渡し状況

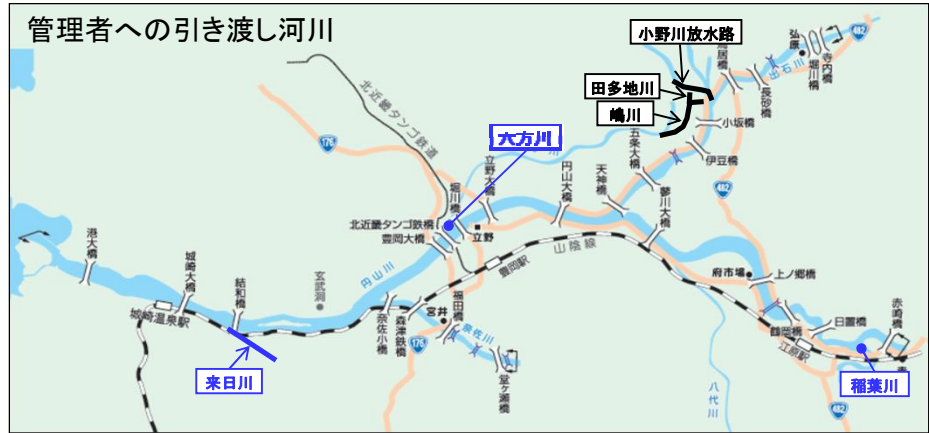
**施策の概要**

- 河川法施行令第2条7号に基づいて整備した河川について、内水等の管理を滞りなく行えるように、管理者(兵庫県)への引き渡しを行う。

**実施状況**

・管理者への引き渡し河川:6河川(稲葉川、六方川、小野川放水路、嶋川、田多地川、来日川)

実施内容	進捗状況				
	H25時点	H27時点	H30時点	R3時点	R6時点
河川法施行令第2条7号に基づいて整備した河川について、管理者(兵庫県)への引き渡し【6河川】	0河川【累計 0河川】	3河川【累計 3河川】 (小野川放水路、嶋川、田多地川)	3河川【累計 3河川】 (小野川放水路、嶋川、田多地川)	3河川【累計 3河川】 (小野川放水路、嶋川、田多地川)	3河川【累計 3河川】 (小野川放水路、嶋川、田多地川)



**点検結果**

- 整備が完了している3河川(小野川放水路、嶋川、田多地川)は、平成27年度に兵庫県へ引き渡しが完了。
- 今後、稲葉川、六方川、来日川について、整備が完了する河川は、早期に引き渡しの手続きを行う。

点検事項等	地震対策
点検項目	河川管理施設の照査の実施状況、耐震対策の実施状況
点検指標	①河川管理施設の耐震性能照査の実施状況 ②耐震対策の実施状況

施策の概要

・現在から将来にわたって考えられる最大級の強さを持つ地震動(レベル2地震動)に対し、「河川構造物の耐震性能照査指針」に基づき照査を実施し、その結果に応じて必要な対策を行う。

実施状況

・耐震性能照査の実施が必要な堤防延長:22.3km、及び、河川管理施設:31施設(水門・樋門28施設、排水機場3施設)<sup>※1</sup>

※1: H26まで豊岡排水機場、豊岡樋門、豊岡排水機場吐出ゲートをあわせて1施設としていたが、H27以降は河川管理施設数と整合させるため個別でカウントした。(施設合計数31→33)  
R6以降は豊岡排水機場吐口ゲート、長砂樋門が廃止されたことにより施設合計数を33→31としている。

①河川管理施設の耐震性能照査の実施状況

実施内容	進捗状況				
	H25時点	H27時点	H30時点	R3時点	R6時点
◆河川堤防 耐震性能照査の実施が必要な堤防延長:22.3km	22.3km実施(完了) (累計22.3km/22.3km)	完了 (累計22.3km/22.3km)	—	—	—
◆河川管理施設 水門・樋門28施設、排水機場5施設:合計33施設 (R6より樋門26施設、排水機場5施設:合計31施設) <sup>※1</sup>	水門、樋門、排水機場照査実施2施設 (累計2施設/33施設)	未実施 (累計2施設/33施設)	水門、樋門、排水機場8施設実施(H28~H30) (累計10施設/33施設)	水門、樋門18施設実施 (累計28施設/33施設)	未実施 (累計28施設/31施設)

②河川管理施設に関する耐震対策の実施状況

・R3年度時点:対策済施設0施設/対策必要施設22施設  
 ・R4年度時点:対策中施設1施設/対策必要施設22施設  
 ・R5年度時点:対策中施設1施設/対策必要施設22施設  
 ・R6年度時点:対策中施設1施設/対策必要施設21施設  
 (R6年度、豊岡排水機場吐口ゲートは廃止のため21施設が対象)

○耐震性能照査の実施により、対策が必要な河川管理施設は以下のとおり。

・河川管理施設数:21施設 (豊岡排水機場吐口ゲートは廃止)

施設	河川名	左右岸	位置	対策	対策必要施設
城崎水門	円山川	左岸	2.6k+128.4m		21施設
城崎排水機場		左岸	2.6k+128.4m		
玄武洞樋門		右岸	7.2k+198m		
下鶴井樋門		右岸	8.8k+35.5m		
宮島樋門		右岸	11.2k		
六方水門		右岸	12.0k+35m	R4	
六方排水機場		右岸	12.0k+100m		
豊岡樋門		左岸	12.6k+34m		
豊岡排水機場		左岸	12.6k+34m		
八条樋門		左岸	14.8k+105m		
八条排水機場	左岸	14.8k+105m			
佐野樋門	左岸	16.8k+26.7m			
八代水門	左岸	18.6k			
浅倉樋門	左岸	26.2k+120.4m			
森津樋門	奈佐川	左岸	0.4k+73m		
新前川樋門		右岸	0.8k+67.7m		
福田第一樋門		右岸	1.4k+160m		
清冷寺樋門	出石川	右岸	0.6k+142m		
加陽樋門		左岸	0.8k+89m		
福居樋管		右岸	3.0k+151.3m		
谷山川樋門		右岸	7.0k-14m		

点検結果

・河川堤防の耐震性能照査は全て完了し、対策不要との結果となっている。  
 ・河川管理施設の耐震性能照査は、31施設中28施設の照査が完了し、うち21施設で対策が必要となっている。  
 ・対策必要施設のうち六方水門の対策が完了した。  
 ・今後、残りの施設について引き続き照査を進め、耐震対策を計画的に実施していく。

点検事項等	津波対策
点検項目	河川管理施設の津波影響検討の実施状況、津波対策の実施状況
点検指標	①河川管理施設の津波影響検討の実施状況、 ②津波対策(補強、遠隔監視・操作システム整備)の実施状況

施策の概要

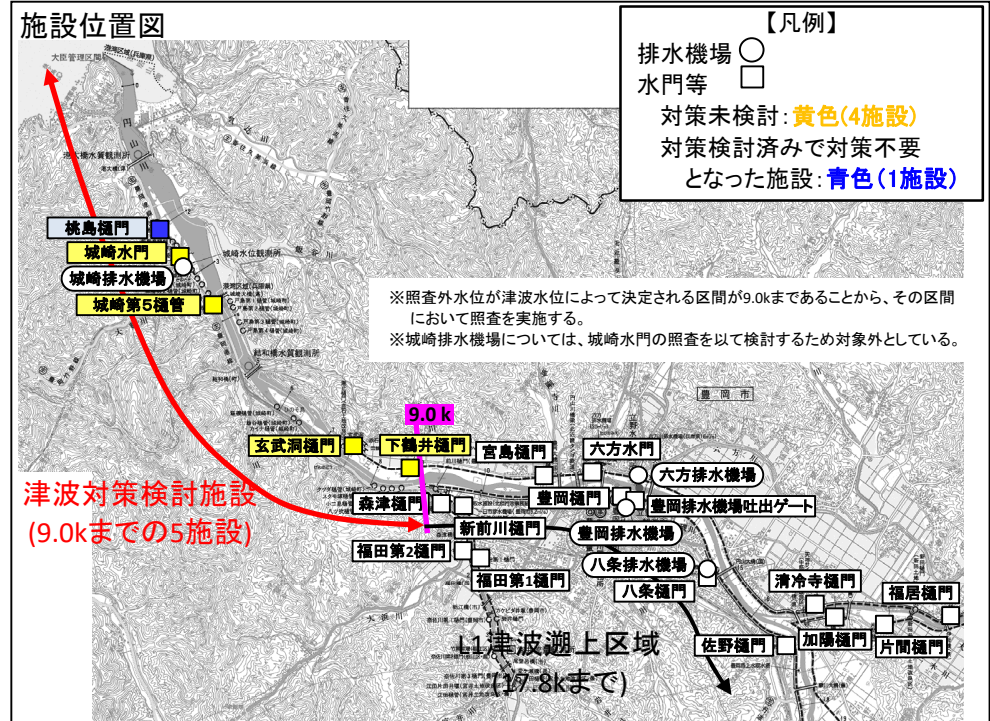
・堤防、樋門等の河川管理施設が遡上する津波を防護できるよう施設の補強、遠隔監視操作システムの充実など必要な対策を講じる。

実施状況

・対象となる河川管理施設:5施設  
(水門・樋門5施設)

実施内容	年度別進捗状況				
	H25~H26	H27~H29	H30	R3	R6
津波影響の検討	検討会待ち	県にて検討	実施	-	-
津波対策の検討 (5施設)	検討会待ち	未実施	1施設実施 (累計1施設/5施設)	未実施 (累計1施設/5施設)	未実施 (累計1施設/5施設)
津波対策の実施 (現在0施設)	検討会待ち	未実施	未実施 (累計0施設/0施設)	未実施 (累計0施設/0施設)	未実施 (累計0施設/0施設)

※平成26年9月に発表された「日本海における大規模地震に関する調査検討会」最終報告(豊岡:平地の最大津波高3.3m)に基づいて、兵庫県が河口部での津波について平成30年3月に検討成果を発表しており、それを踏まえて河川の津波対策に関する検討を実施。



点検結果

- ・平成29年度に兵庫県において大規模地震による津波シミュレーションが完了し、平成30年度は樋門等における津波対策が必要な箇所を抽出した。
- ・令和元年度から令和6年度は基礎資料の整理を行った。
- ・今後、既設施設について波力等による構造的な安全性の確認を進めていく。

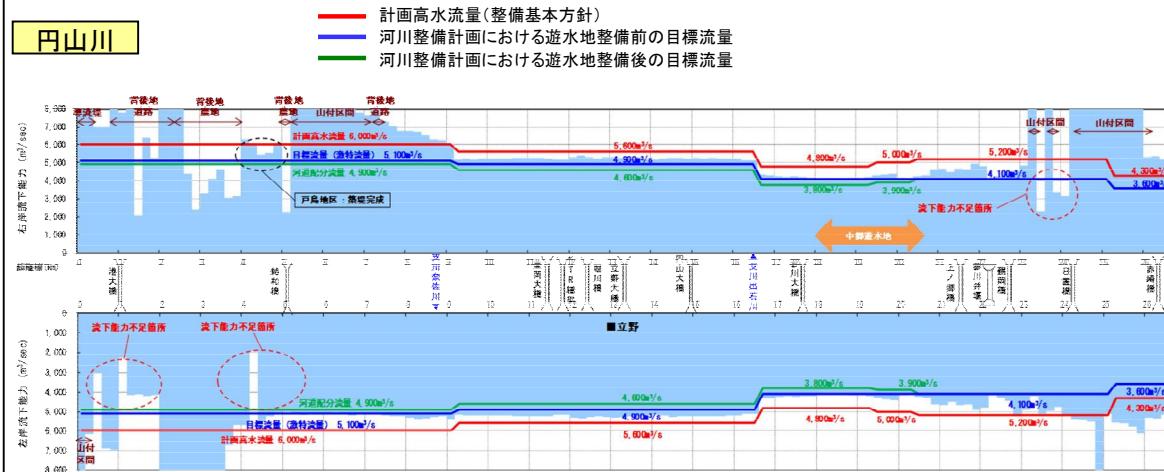
点検事項等	治水対策全体
点検項目	外水対策、内水対策、地震・津波対策
点検指標	外水対策の進捗率

点検結果

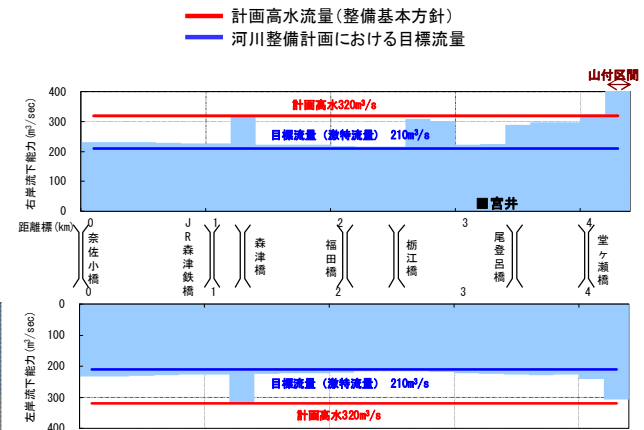
外水対策

※外水対策の進捗として、流下能力が整備目標流量を達成した進捗率で評価する。

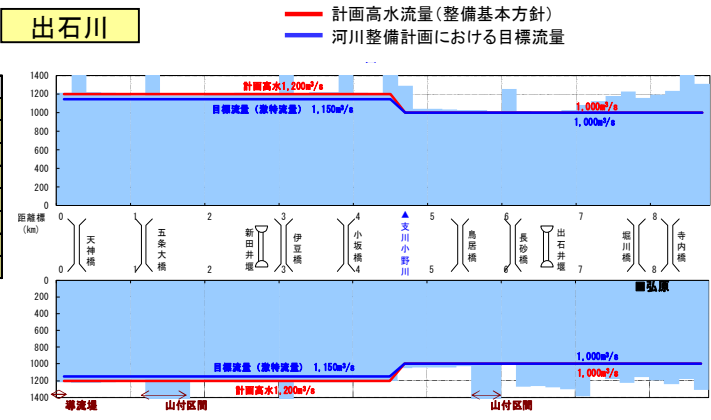
円山川



奈佐川



出石川



整備目標流量達成延長

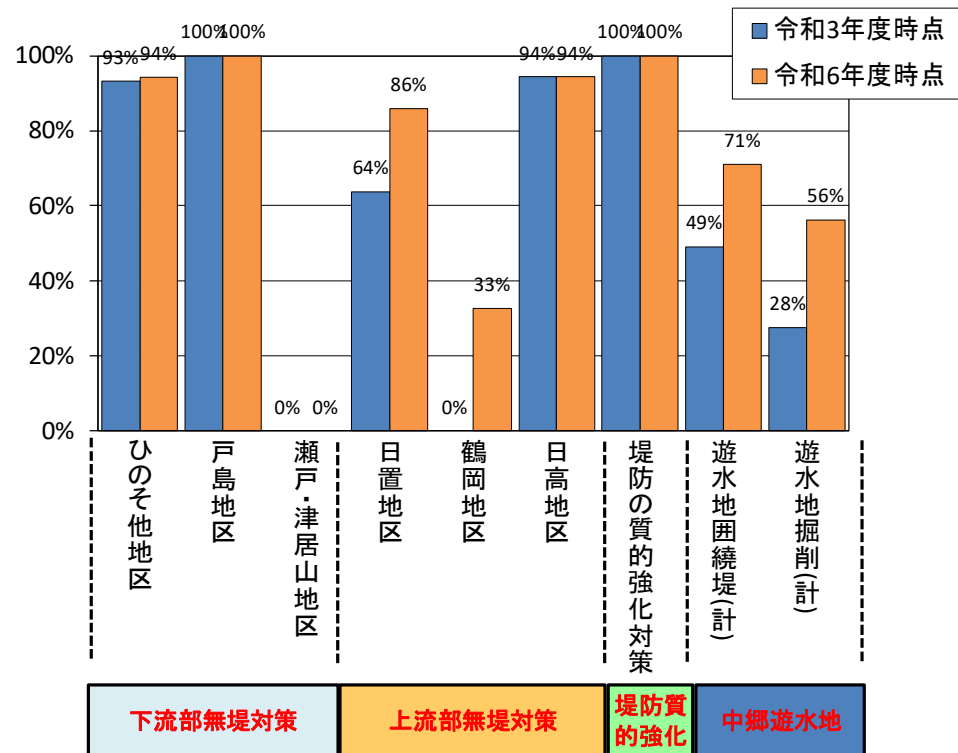
河川名	左右岸	必要延長(km)	達成延長(km)						達成率(%)					
			H25時点	H27時点	H30時点	R3時点	R6時点	H25時点	H27時点	H30時点	R3時点	R6時点		
円山川	右岸	17.1	15.7	16.7	16.7	16.7	17.0	91.8%	97.4%	97.4%	97.4%	97.4%	99.2%	
	左岸	25.6	18.6	19.1	20.2	23.4	23.8	72.8%	74.7%	79.0%	91.5%	93.0%		
奈佐川	右岸	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
	左岸	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
出石川	右岸	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
	左岸	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
合計		66.5	58.1	59.6	60.7	63.9	64.6	87.4%	89.6%	91.2%	96.0%	97.1%		

※背後地が農地等による堤防不要箇所は必要延長に含まない。  
 ※円山川については遊水地整備後の目標流量に対する達成率である。

点検結果

治水対策全体の進捗状況

治水対策	単位	整備計画値	R3時点		R6時点		
			実施済	進捗率	実施済	進捗率	
下流部無堤対策	ひの其他地区	(m)	5,300	4,935	93%	4,996	94%
	(内 第1段階)	(m)	(4,100)	(4,070)	(99%)	(4,100)	(100%)
	戸島地区	(m)	1,060	1,060	100%	1,060	100%
	瀬戸・津居山地区	(m)	1,700	0	0%	0	0%
	計	(m)	8,060	5,995	74%	6,056	75%
上流部無堤対策	日置地区	(m)	570	364	64%	490	86%
	鶴岡地区	(m)	560	0	0%	183	33%
	日高地区	(m)	1,384	1,307	94%	1,307	94%
	計	(m)	2,514	1,671	66%	1,980	79%
無堤対策合計	(m)	10,574	7,666	72%	8,036	76%	
堤防の質的強化対策	(m)	4,879	4,879	100%	4,879	100%	
中郷遊水地	遊水地囲繞堤(下池)	(m)	1,200	912	76%	1,109	92%
	遊水地囲繞堤(上池)	(m)	800	70	9%	313	39%
	遊水地囲繞堤(計)	(m)	2,000	982	49%	1,422	71%
	遊水地掘削(下池)	(m)	500	151.8	30%	268.7	54%
	遊水地掘削(上池)	(m)	230	49.6	22%	141.7	62%
	遊水地掘削(計)	(m)	730	201.4	28%	410.4	56%



<まとめ>

進捗状況 (R6時点)	・ひの其他地区は、特殊堤による第2段階施工の堤防整備率が94%まで進捗している。
	・日置地区・鶴岡地区の堤防整備率はそれぞれ86%、33%であり、R6年度は日置地区・鶴岡地区の堤防整備が進捗した。日置地区では橋梁付け替えの整備に着手。
	・日高地区は、墓地前面の暫定堤防整備を実施し、HWL以上の堤防高を確保できている。
	・中郷遊水地の整備率は囲繞堤が71%、掘削が56%まで進捗した。下池では越流堤整備が完了し、排水樋門を整備中。
考察	・堤防整備の進捗に応じ、流下能力は97.1%の達成率で着実に向上し、目標の達成に向けて進んでいる。
	・いずれの事業も、地元関係者や行政機関等との調整や連携が不可欠であり、今後も事業協力が得られるように進めて行く。

点検事項等	適切な流水管理
点検項目	指導状況
点検指標	適切な管理に関する指導実施の達成度

**施策の概要**  
 ・取水施設管理者への適切な管理に関する指導を実施する。

<b>実施状況</b>		表-1 対象とする取水施設				
年度	実施内容 ※施設管理者から提出される取水量に関するデータより、取水量が許可水利権量を上回っていないか等を確認し、適切な管理に関して指導を実施する。	河川名	施設名	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	目的	備考
H25	許可施設17施設のうち、許可水利権量を超過した等の不適切な管理がなされた施設はなかったため、指導は実施していない。	円山川	豊岡市水道	0.2550	水道用水	毎月データ提出
H27	許可施設17施設のうち、許可水利権量を超過した等の不適切な管理がなされた施設はなかったため、指導は実施していない。		蓼川堰（右岸）	1.4800	農業用水	年1回データ提出
H30	許可施設17施設のうち、許可水利権量を超過した等の不適切な管理がなされた施設はなかったため、指導は実施していない。		蓼川堰（左岸）	1.3900	農業用水	〃
R3	許可施設17施設のうち、許可水利権量を超過した等の不適切な管理がなされた施設はなかったため、指導は実施していない。		国道第1消雪用水	0.0462	雑用水	〃
R6	許可施設17施設のうち、許可水利権量を超過した等の不適切な管理がなされた施設はなかったため、指導は実施していない。		国道第2消雪用水	0.0250	雑用水	〃
		出石川	新田頭首工	1.6540	農業用水	〃
			出石堰（右岸）	0.5870	農業用水	〃
			出石堰（左岸）	0.6340	農業用水	〃
		奈佐川	カケヒダ井堰	0.0780	農業用水	〃
			竹黒井堰	0.0560	農業用水	〃
			江田片田堰（右岸）	0.0610	農業用水	〃
		稲葉川	江田片田堰（左岸）	0.0420	農業用水	〃
			岩中発電所	8.0000	発電	〃
		阿瀬川・若林川	石井発電所	2.0000	発電	〃
			阿瀬発電所	1.0500	発電	〃
		大屋川	横行発電所	0.8300	発電	〃
		多々良木川	奥多々良木発電所	594.00	発電	毎月データ提出 常時取水せず調整池に貯留した水を反復利用

※年1回データを提出する施設：豊岡市水道、奥多々良木発電所以外の15施設  
 ※毎月データを提出する施設：豊岡市水道、奥多々良木発電所の2施設

**点検結果**  
 ・令和3年度まで、全取水施設において取水量が許可水利権量を超過することなく、適切な流水管理が実施されていることを確認している。  
 ・令和6年度も、年1回データを提出する施設、毎月データを提出する施設ともに許可水利権量を超過した等の不適切な管理がなされた施設はなかった。  
 ・今後も引き続き、取水施設管理者が適切な管理を行えるように指導を実施していく。

点検事項等	適切な流水管理
点検項目	水利用の実態及び水需要を踏まえた適正な水利権許可
点検指標	水利用や水需要の適正な水利権許可の達成度

<p>施策の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取水施設に対して適切な水利権許可を行う。</li> </ul>
---

<p>実施状況</p> <p>○実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取水施設の水利用や水需要の適正な水利権許可</li> <li>※水利権更新時に、施設管理者から提出される申請書類等により、当該施設の水利用や水需要の精査を行った上で許可する。</li> <li>※施設管理者から提出される取水量に関するデータより、取水量が許可水利権量を上回っていないかの確認等、適切な管理に関して指導を実施する。</li> </ul> <p>○進捗状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26～H27</td> <td>・水利権の更新審査中：4施設</td> </tr> <tr> <td>H28～H30</td> <td>・水利権の更新手続き完了：7施設 ・新田頭首工及び豊岡市水道について更新審査中。</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>・新田頭首工の更新手続きが完了。</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>・豊岡市水道の更新手続きが完了。 ・出石堰（右岸、左岸）の更新手続きが完了。</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>・蓼川堰（右岸、左岸）の更新手続きが完了。</td> </tr> <tr> <td>R4～5</td> <td>・横行発電所について更新審査。（R5.9.5更新手続きが完了）</td> </tr> <tr> <td>R6～7</td> <td>・阿瀬発電所について更新審査中。</td> </tr> </tbody> </table>	年度	内容	H26～H27	・水利権の更新審査中：4施設	H28～H30	・水利権の更新手続き完了：7施設 ・新田頭首工及び豊岡市水道について更新審査中。	R1	・新田頭首工の更新手続きが完了。	R2	・豊岡市水道の更新手続きが完了。 ・出石堰（右岸、左岸）の更新手続きが完了。	R3	・蓼川堰（右岸、左岸）の更新手続きが完了。	R4～5	・横行発電所について更新審査。（R5.9.5更新手続きが完了）	R6～7	・阿瀬発電所について更新審査中。	<p>対象とする取水施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>河川名</th> <th>施設名</th> <th>更新年度</th> <th>取水量 (m<sup>3</sup>/s)</th> <th>目的</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">円山川</td> <td>豊岡市水道</td> <td>R9</td> <td>0.2550</td> <td>水道用水</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蓼川堰（右岸）</td> <td>R13</td> <td>1.4800</td> <td>農業用水</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蓼川堰（左岸）</td> <td>R13</td> <td>1.3900</td> <td>農業用水</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国道第1消雪用水</td> <td>R7</td> <td>0.0462</td> <td>雑用水</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国道第2消雪用水</td> <td>R7</td> <td>0.0250</td> <td>雑用水</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">出石川</td> <td>新田頭首工</td> <td>R9</td> <td>1.6540</td> <td>農業用水</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出石堰（右岸）</td> <td>R11</td> <td>0.5870</td> <td>農業用水</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出石堰（左岸）</td> <td>R11</td> <td>0.6340</td> <td>農業用水</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">奈佐川</td> <td>カケヒダ井堰</td> <td>R7</td> <td>0.0780</td> <td>農業用水</td> <td></td> </tr> <tr> <td>竹黒井堰</td> <td>R8</td> <td>0.0560</td> <td>農業用水</td> <td></td> </tr> <tr> <td>江田片田堰（右岸）</td> <td>R9</td> <td>0.0610</td> <td>農業用水</td> <td></td> </tr> <tr> <td>江田片田堰（左岸）</td> <td>R9</td> <td>0.0420</td> <td>農業用水</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">稲葉川</td> <td>岩中発電所</td> <td>R18</td> <td>8.0000</td> <td>発電</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石井発電所</td> <td>R14</td> <td>2.0000</td> <td>発電</td> <td></td> </tr> <tr> <td>阿瀬川・若林川</td> <td>阿瀬発電所</td> <td>R6</td> <td>1.0500</td> <td>発電</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大屋川</td> <td>横行発電所</td> <td>R14</td> <td>0.8300</td> <td>発電</td> <td></td> </tr> <tr> <td>多々良木川</td> <td>奥多々良木発電所</td> <td>R12</td> <td>594.00</td> <td>発電</td> <td>常時取水せず調整池に貯留した水を反復利用</td> </tr> </tbody> </table>	河川名	施設名	更新年度	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	目的	備考	円山川	豊岡市水道	R9	0.2550	水道用水		蓼川堰（右岸）	R13	1.4800	農業用水		蓼川堰（左岸）	R13	1.3900	農業用水		国道第1消雪用水	R7	0.0462	雑用水		国道第2消雪用水	R7	0.0250	雑用水		出石川	新田頭首工	R9	1.6540	農業用水		出石堰（右岸）	R11	0.5870	農業用水		出石堰（左岸）	R11	0.6340	農業用水		奈佐川	カケヒダ井堰	R7	0.0780	農業用水		竹黒井堰	R8	0.0560	農業用水		江田片田堰（右岸）	R9	0.0610	農業用水		江田片田堰（左岸）	R9	0.0420	農業用水		稲葉川	岩中発電所	R18	8.0000	発電		石井発電所	R14	2.0000	発電		阿瀬川・若林川	阿瀬発電所	R6	1.0500	発電		大屋川	横行発電所	R14	0.8300	発電		多々良木川	奥多々良木発電所	R12	594.00	発電	常時取水せず調整池に貯留した水を反復利用
年度	内容																																																																																																																		
H26～H27	・水利権の更新審査中：4施設																																																																																																																		
H28～H30	・水利権の更新手続き完了：7施設 ・新田頭首工及び豊岡市水道について更新審査中。																																																																																																																		
R1	・新田頭首工の更新手続きが完了。																																																																																																																		
R2	・豊岡市水道の更新手続きが完了。 ・出石堰（右岸、左岸）の更新手続きが完了。																																																																																																																		
R3	・蓼川堰（右岸、左岸）の更新手続きが完了。																																																																																																																		
R4～5	・横行発電所について更新審査。（R5.9.5更新手続きが完了）																																																																																																																		
R6～7	・阿瀬発電所について更新審査中。																																																																																																																		
河川名	施設名	更新年度	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	目的	備考																																																																																																														
円山川	豊岡市水道	R9	0.2550	水道用水																																																																																																															
	蓼川堰（右岸）	R13	1.4800	農業用水																																																																																																															
	蓼川堰（左岸）	R13	1.3900	農業用水																																																																																																															
	国道第1消雪用水	R7	0.0462	雑用水																																																																																																															
	国道第2消雪用水	R7	0.0250	雑用水																																																																																																															
出石川	新田頭首工	R9	1.6540	農業用水																																																																																																															
	出石堰（右岸）	R11	0.5870	農業用水																																																																																																															
	出石堰（左岸）	R11	0.6340	農業用水																																																																																																															
奈佐川	カケヒダ井堰	R7	0.0780	農業用水																																																																																																															
	竹黒井堰	R8	0.0560	農業用水																																																																																																															
	江田片田堰（右岸）	R9	0.0610	農業用水																																																																																																															
	江田片田堰（左岸）	R9	0.0420	農業用水																																																																																																															
稲葉川	岩中発電所	R18	8.0000	発電																																																																																																															
	石井発電所	R14	2.0000	発電																																																																																																															
阿瀬川・若林川	阿瀬発電所	R6	1.0500	発電																																																																																																															
大屋川	横行発電所	R14	0.8300	発電																																																																																																															
多々良木川	奥多々良木発電所	R12	594.00	発電	常時取水せず調整池に貯留した水を反復利用																																																																																																														

<p>点検結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度まで、適切な水利権許可を実施し、更新についても、逐次精査を行い、適正に許可してきた。</li> <li>令和5年度は横行発電所について審査を行い更新手続きが完了した。令和6年度～令和7年度は阿瀬発電所について審査中。</li> <li>今後も引き続き、取水施設管理者が適切な管理を行えるように指導を実施していく。</li> </ul>
---

点検事項等	渇水対応
点検項目	渇水発生状況と関係機関との協議状況
点検指標	渇水発生状況と渇水会議等の開催状況

**施策の概要**

・渇水により悪影響を及ぼすおそれがある場合には、関係機関と連携して水利使用者相互間の水融通の円滑化などを図る。

**実施状況**

年度	渇水発生状況と渇水会議等の開催状況
H26～H27	渇水は発生しなかったため、関係機関との協議はなかった。
H28～H30	渇水は発生しなかったため、関係機関との協議はなかった。
R1	渇水は発生しなかったため、関係機関との協議はなかった。
R2	渇水は発生しなかったため、関係機関との協議はなかった。
R3	渇水は発生しなかったため、関係機関との協議はなかった。
R4	渇水は発生しなかったため、関係機関との協議はなかった。
R5	渇水は発生しなかったため、関係機関との協議はなかった。
R6	渇水は発生しなかったため、関係機関との協議はなかった。

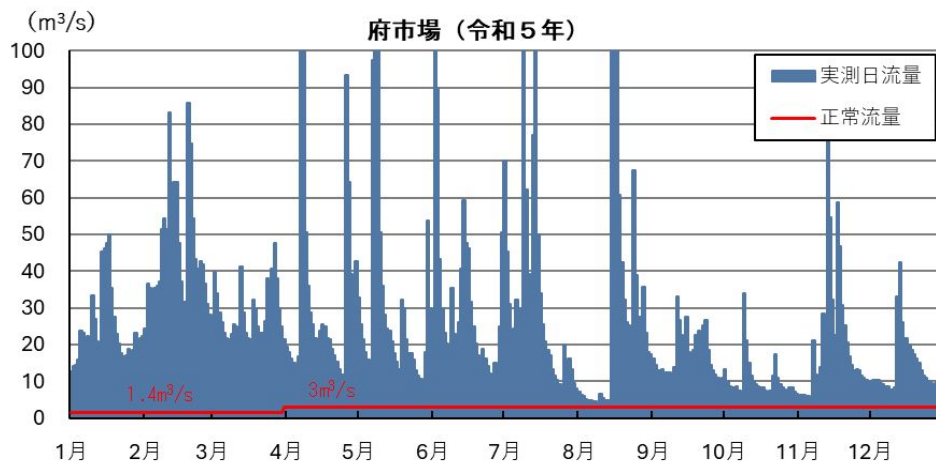
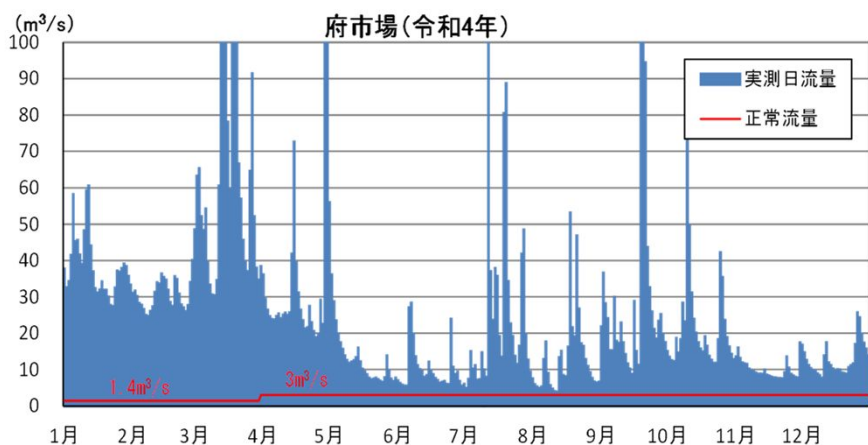
**点検結果**

・平成26年度から令和3年度まで、渇水は発生していない。  
 ・令和4年度～令和6年度も、渇水は発生しなかった。  
 ・今後も引き続き、渇水発生状況を把握し、必要に応じた渇水会議等を開催することで水利使用者相互間の水融通の円滑化などを図っていく。

点検事項等	利水対策全体
点検項目	正常流量の確保
点検指標	1年を通じての正常流量確保の達成度

実施状況

実施内容	年次別状況					
	H27	H28	H29~R2	R3	R4	R5
1年を通じての正常流量確保	正常流量の確保日数 :365日(通年確保)	正常流量の確保日数 :365日(1日不足)	正常流量の確保日数 :365日(通年確保)	正常流量の確保日数 :341日(欠測除き確保)	正常流量の確保日数 :365日(通年確保)	正常流量の確保日数 :365日(通年確保)



※昨年度流量の確定が照査の関係上、12月頃であるため開催年の前年度ではなく、前々年度について流量評価を行っている。

点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年～令和3年は概ね正常流量が確保されていたが、平成28年に1日だけ不足したことがあった(被害はなし)。</li> <li>令和4年、令和5年は通年で正常流量は確保されている。</li> <li>※ただし、令和5年の高水時の水位から流量への換算は、平成30年のHQ式を使用</li> <li>今後も引き続き、適切な水利用がなされるよう、関係機関と連携して取り組んでいく。</li> </ul>
------	--

点検事項等	ヨシ原の再生(下鶴井地区)
点検項目	整備面積、ヨシ原再生状況
点検指標	下鶴井地区の整備面積の進捗率(%)

完了  
継続モニタリング

施策の概要

・円山川激甚災害対策特別緊急事業における掘削土砂の揚陸場として改変されたヨシ原の一部において、円山川水系自然再生計画に基づき、円山川の特徴的な自然環境・自然景観として保全区域となっているヨシ原の再生を図る。  
湿地化面積:4.1ha(下鶴井地区)

実施状況

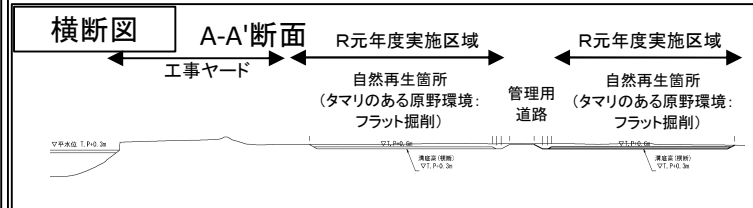
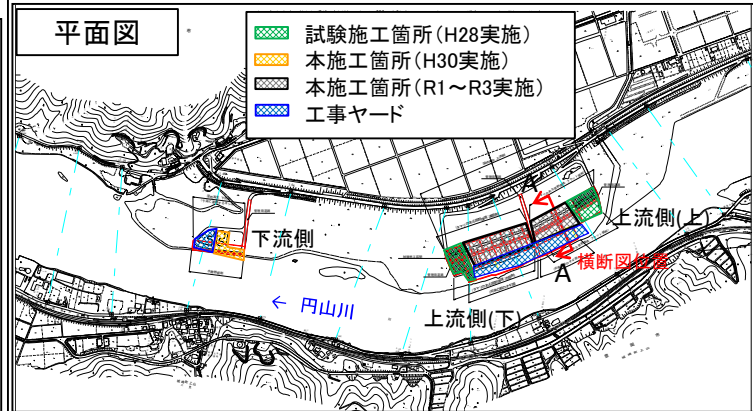
下鶴井地区の整備面積の達成度

実施内容 (計画値)	進捗状況(達成度)		
	H27時点	H30時点	R3時点(完了)
整備面積 A=2.1ha	整備済0.0ha (進捗率0%)	整備済 0.8ha (進捗率20%)	整備済2.1 ha (進捗率100%)



ヨシ再生試験施工の概要

様々な高さの掘削高を設定し、それぞれの土質がヨシの活着や繁茂に与える影響を確認する。



点検結果

- ・平成28年度に「上流側(上)、上流側(下)」において試験施工を実施し、平成30年度に「下流側」の本工事に、令和元年度に「上流側」の本工事に着手して令和3年度に完成した。
- ・令和元年度以降、「上流側・下流側」でモニタリング調査も実施し、ほぼ全体にヨシ群落・オギ群落の形成を確認するとともに、ヨシ群落に見られる貴重種が確認出来た。令和6年度もモニタリング調査を実施し、ヨシ群落、オギ群落の形成が確認できた。
- ・今後もモニタリング調査により、ヨシ群落の状態を把握し、必要な対策を実施していく。

点検事項等	大規模湿地の再生(加陽地区)
点検項目	整備面積
点検指標	整備面積の進捗率(%)

完了  
継続モニタリング

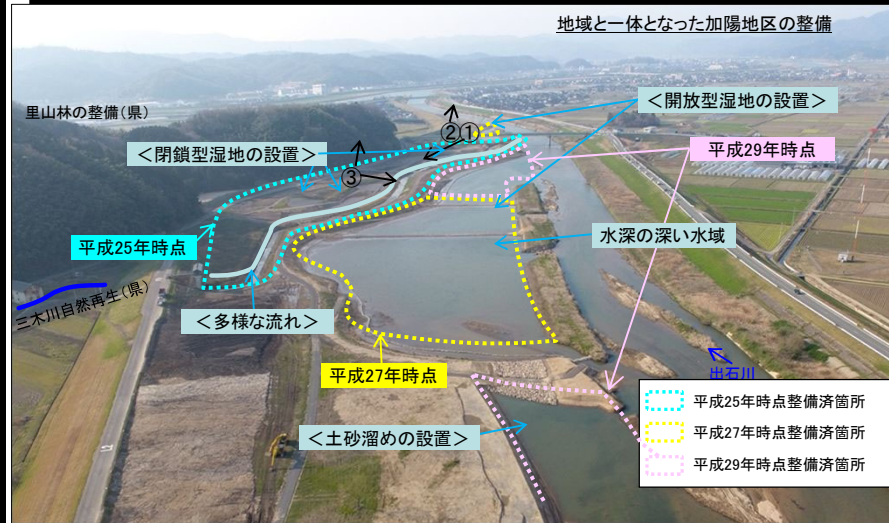
施策の概要

・魚類、底生動物等の生息・再生産の場として出石川と接続する開放型湿地や鳥類の餌場として機能するよう水田に近い環境を復元しつつ、山裾との連続性を確保した閉鎖型湿地を整備することで湿地再生を行う。計画整備面積 A=7.2ha

実施状況

○整備面積の進捗率

実施内容 (計画値)	進捗状況(達成度)			
	H25時点	H27時点	H28時点	H29時点
湿地化面積 A=7.2ha	整備済3.3ha (進捗率46%)	整備済6.6ha (進捗率92%)	整備済6.6ha (進捗率92%)	整備済7.2ha (進捗率100%)



閉鎖型  
湿地  
三木川



下流側  
開放型  
湿地



湿地  
整備



点検結果

- ・平成29年度に湿地整備が完了し、進捗率は100%となった。平成30年度からモニタリング調査を開始した。
- ・令和6年度は、モニタリング調査の一環として、地元河川協力団体により除草や外来植物の除去を実施した。
- ・今後もモニタリング調査に基づく環境の評価を行い、湿地全体の順応的な維持管理を行っていく。

令和6年度のモニタリング結果 加陽地区：魚類相調査〈秋季調査〉

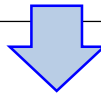
維持管理はモニタリング結果とその分析等に基づいて順応的に行う。

実施日：令和6年 9月26・27日  
 参加者：中筋小学校5年生、地元関係者  
 指導者：コウノトリ市民研究所、豊岡市など  
 実施方法：小学生による問診型モニタリングで定置網を設置、調査会社による調査（タモ網、すくい網、投網、どう、潜水観察）で確認された魚種、個体数を合計し調査結果として示している。

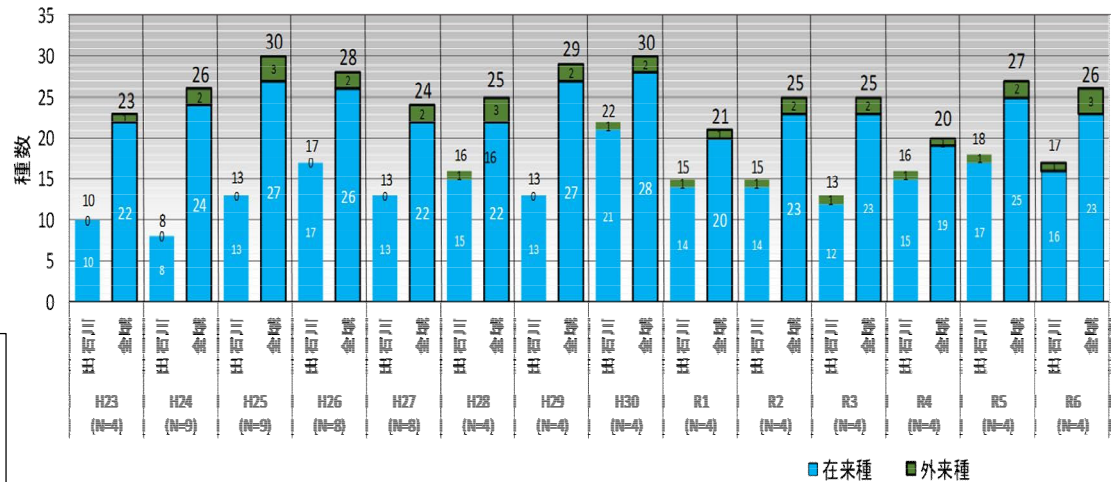
経年変化〈確認種数〉：

- 経年的に25種前後の魚種を確認している。
- 令和6年度調査では、加陽湿地全体で26種の魚類が確認された。
- （対照区では、17種の確認した）

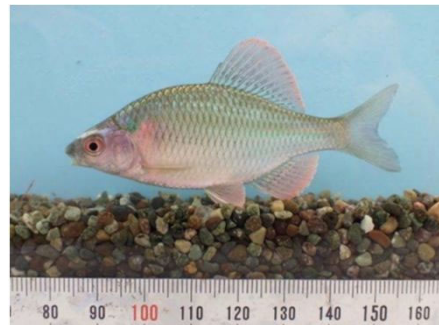
技術部会の評価を踏まえた対応



加陽湿地は湿地再生の効果とりまとめが完了している。  
 ただし、地元小学校と連携したモニタリング調査は継続する。



加陽地区における魚類の確認種数 経年変化（秋季）



カネヒラ（兵庫県レッドデータブック：Bランク）



ジュズカケハゼ（環境省：準絶滅危惧種）  
 （兵庫県レッドデータブック：Bランク）

点検事項等	河道改修にあわせた環境の再生・保全(中郷遊水地)
点検項目	整備面積
点検指標	整備面積の進捗率(%)

施策の概要

河道内の洪水調節施設としての遊水地を整備するために行われる築堤及び遊水地内の掘削と併行して、遊水地内の地盤を切り下げ、大規模な湿地環境の再生を行う。あわせて、現存する低水路とワンドの改変を最小限として、低水路の良好な流れを確保して川の営力による礫河原や瀬・淵の保全・形成を促す。

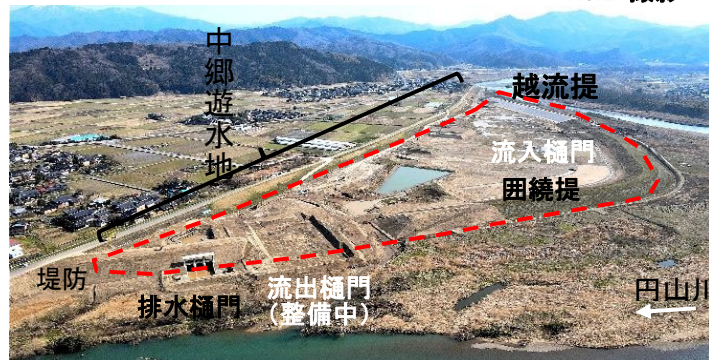
実施状況

○整備面積の進捗率

実施内容 (計画値:調整中)	進捗状況(達成度)		
	H27時点	H28~R5時点	R6時点
整備面積	整備済0.0ha (進捗率0%)	整備済0.0ha (進捗率0%)	整備済0.0ha (進捗率0%)

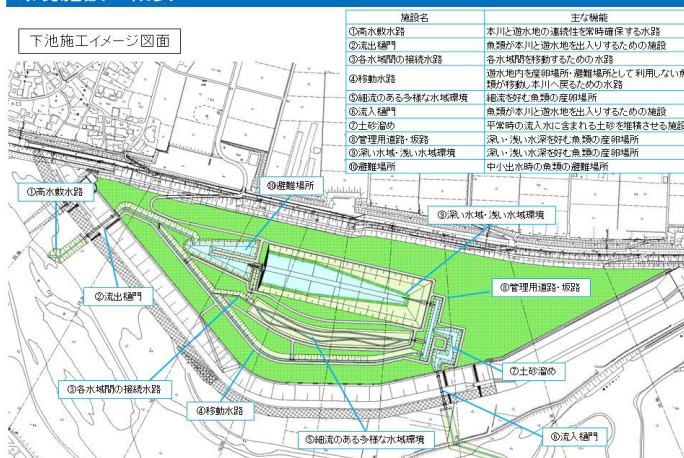
中郷遊水地整備箇

R7.3.21撮影



円山川自然再生推進委員会で検討されている中郷遊水地の環境創出(下池)

環境施設の概要



令和6年度に流入樋門の整備を完了、流出樋門は整備中

中郷遊水地(上池)においては、令和6年度に湿地範囲を検討

点検結果

- 下池では、平成28年度に試験掘削を実施し、遊水地内湿地環境再生のためモニタリングを開始し、現在継続中である。令和5年度は、治水の遊水地整備の進捗にあわせ、「円山川水系自然再生推進委員会技術部会」において中郷遊水地における環境創出の具体化について検討し、自然再生推進委員会の結果を踏まえ、下池の流入樋門、流出樋門について詳細設計を行った。令和6年度は、流入樋門の整備を実施した。流出樋門は現在整備中。
- 上池では、令和6年度に遊水地内の湿地範囲を検討した。
- 今後、下池では、モニタリング調査結果を踏まえて、順応的な湿地環境再生を進めていく。上池では、湿地形状の検討を進める。

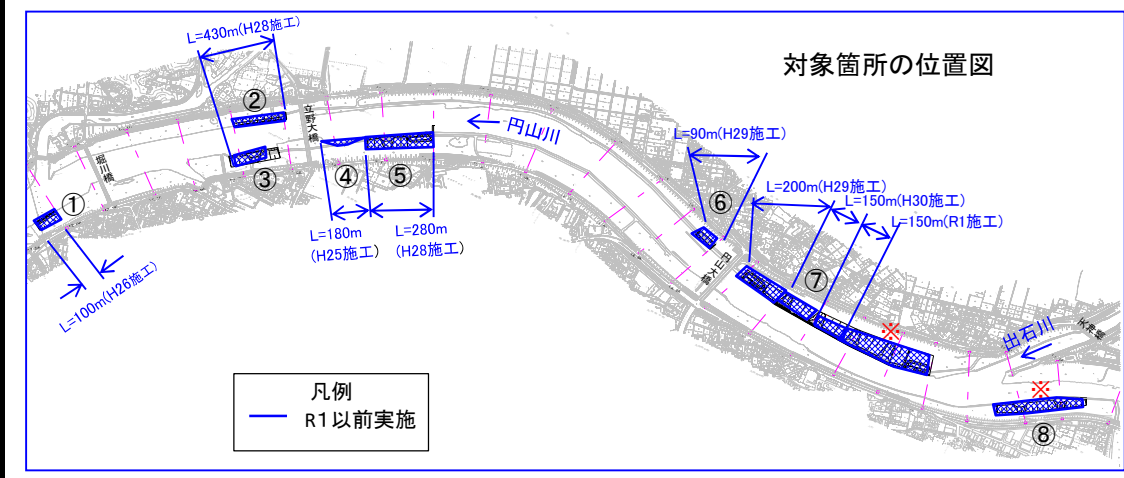
点検事項等	湿地の質的改良
点検項目	整備延長
点検指標	湿地の質的向上(湿地改良)のための整備延長の進捗率

完了  
継続モニタリング

**施策の概要**  
 ・水際部の形状や構造の多様化を図り、多様な生物の生息・生育・繁殖の場となるように湿地を改良する。計画延長 L=2,370m

**実施状況**

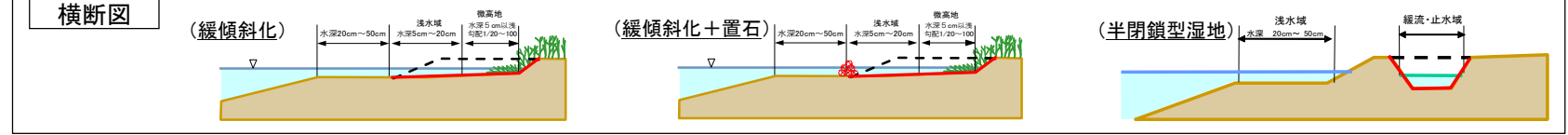
実施内容 (計画値)	進捗状況(達成度)			
	H25時点	H27時点	H30時点	R1時点(完了)
計画延長: L=2,370m	整備済: 180m (進捗率8%)	整備済: 280m (進捗率12%)	整備済: 1430m (進捗率60%)	整備済: 2370m (進捗率100%)



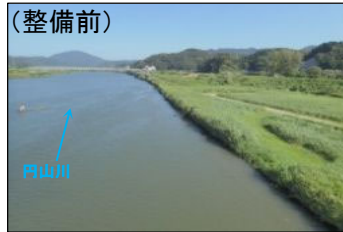
※自然の営力(流れの作用)により質的向上が完了した箇所



水際の多様性・陸域と水域の連続性確保による生物の多様な生息・生育環境の保全を目指した湿地改良のイメージ



②立野大橋下流  
緩傾斜化+置石



オギ群落は見られないが、水域が保たれ湿地の機能を維持している

⑤立野大橋上流  
緩傾斜化、半閉鎖型



水域が保たれ湿地の機能を維持している

⑥円山大橋下流  
緩傾斜化、半閉鎖型



水域が保たれ湿地の機能を維持している

⑦円山大橋上流  
緩傾斜化、半閉鎖型



水域が保たれ湿地の機能を維持している

### 点検結果

- 令和元年度までに、8箇所の湿地改良・環境遷移帯の設置を完了（一部の自然の営力により質的向上が完了した箇所も含む）。
- 令和元年度～令和3年度は、8箇所のワンドなどの高水敷切り下げ箇所の質的改良効果確認のため魚類・底生動物・植生を対象としたモニタリング調査を実施した。
- モニタリング調査結果として高水敷き切り下げ箇所の質的改善効果が確認されたと判断し、令和4年度以降の調査は河川水辺の国勢調査に移行している。
- 令和4年度～令和6年度は、定点写真撮影によるモニタリングを行い、機能維持を確認した。
- 今後もモニタリング調査を継続し、異常等があれば必要な対策を実施していく。

点検事項等	外来植物の侵入抑制
点検項目	侵入抑制対策実施状況
点検指標	侵入抑制対策の検討・実施状況

施策の概要

・湿地再生にあたっては、現状の良好な表土を湿地法面に播き出すなど、整備後の裸地対策を適切に行い、外来植物の侵入を抑制する対策を検討し適切に実施する。

実施状況

○外来植物の侵入対策の実施状況

年度	進捗状況(達成度)
H26~H27	・加陽地区上流開放型湿地において、外来種抑制のため、水際の勾配に変化をもたせた掘削を実施(H26年度) ・加陽地区上流開放型湿地において、ヨシ・オギの試験移植を実施(H27年度) ・加陽湿地において掘削後の法面を在来植生の表土に置き換える等の対策を試験的に実施(H27年度)
H28~H30	・加陽湿地においてH27年度に実施した試験移植の写真撮影によるモニタリング調査を実施
R1~R3	・加陽湿地において河川協力団体及び企業のCSR活動の協力により、セイタカアワダチソウ・オオフサモ等の外来植物の駆除・草刈りを実施した
R4~R5	・加陽湿地において河川協力団体の協力により、外来植物(セイタカアワダチソウ等)の駆除・草刈りを実施した。 ・また、企業のCSR活動の協力により、アメリカザリガニ・タイリクバラタナゴ等の外来魚の駆除を実施した。
R6	・加陽湿地において河川協力団体の協力により外来植物(セイタカアワダチソウ・カラシナ等)の駆除及び草刈り作業を実施した。 ・また、企業のCSR活動の協力により、アメリカザリガニ・ウシガエル等の外来生物の駆除を実施した。
実施内容(計画値)	外来種の侵入を抑制する対策を検討し適切に実施する



地元河川協力団体による外来植物の駆除・草刈り(令和6年5月、10月)



加陽湿地



外来生物駆除



外来生物駆除

企業のCSR活動による外来生物の駆除(令和6年9月7日)

点検結果

・平成27年度に試験的な対策を実施し、平成28~令和5年度にかけてモニタリング調査を実施した。ヨシ、オギの試験移植箇所では、他地区と比較して外来植物が抑制されていることを確認している。  
・令和6年度は地元河川協力団体の協力により、外来植物(セイタカアワダチソウ・カラシナ等)の駆除・草刈りを実施した。また、企業のCSR活動で外来生物(アメリカザリガニ・ウシガエル等)の駆除も実施した。  
・今後も、モニタリング調査(植生)により外来種の繁茂状況を把握し、対策を必要とする箇所では、円山川水系自然再生推進委員会等の助言を得ながら対応を検討して実施する。

点検事項等	上下流の連続性の改善
点検項目	魚道の設置・改善の指導状況
点検指標	魚道の設置・改善に関する対策の達成度、指導実施の達成度

施策の概要

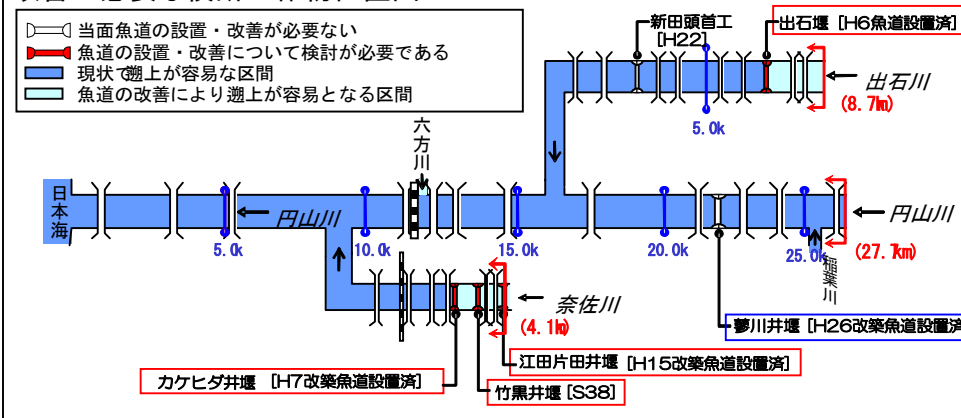
・横断工作物の魚道設置・改善に関する対策への支援、施設管理者への指導  
 (蓼川井堰、カケヒダ井堰、竹黒井堰、江田片田井堰、出石堰の計5施設)

実施状況

年度	施設管理者	H27時点	H29時点	H30時点	R1時点	R3時点	R4時点	R5、R6時点
蓼川井堰	蓼川土地改良区	対策済み	対策済み	対策済み	対策済み	対策済み	対策済み	対策済み
カケヒダ井堰	豊岡市	—	—	—	—	—	助言	—
竹黒井堰	栲江区長	—	助言	—	—	—	—	—
江田片田井堰	宮井区	—	—	助言	—	—	—	—
出石堰	豊岡市	—	—	—	助言	—	—	—
対策達成度		1/5施設 (20%)	1/5施設 (20%)	1/5施設 (20%)	1/5施設 (20%)	1/5施設 (20%)	1/5施設 (20%)	1/5施設 (20%)

※全て許可工作物

改善が必要な横断工作物位置図



点検結果

- ・平成26年度に蓼川井堰の改築に合わせた魚道の設置・改善が実施された。また、平成29年度に竹黒井堰、平成30年度に江田片田井堰、令和元年度に出石堰、令和4年度にカケヒダ井堰の管理者への助言を行った。
- ・今後も、上下流の連続性を改善するため、井堰等への魚道の設置・改善を支援し、関連する助言を施設管理者へ行っていく。

点検事項等	合流部の落差解消(流域との連続性の改善)
点検項目	落差解消数、指導状況
点検指標	①国管理施設の落差解消の達成度 ②許可工作物の管理者への指導・落差解消対策の達成度

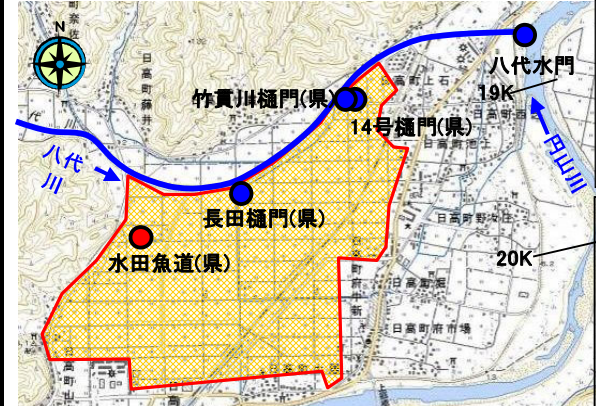
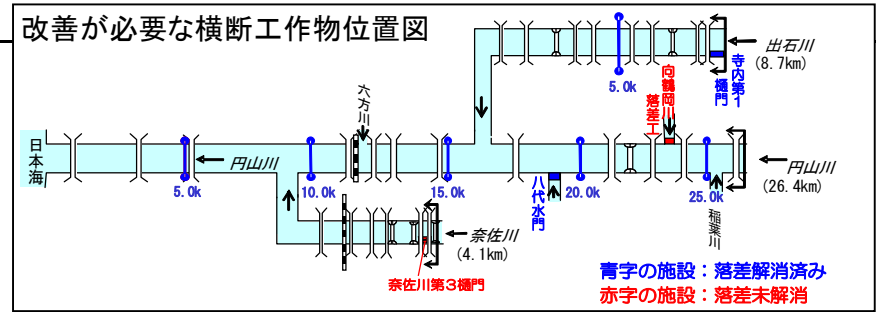
**施策の概要**

・施設の改築等にあわせて魚道の設置・改善に努めるよう施設管理者に指導するとともに、改善にあたって必要な連携を図る。

国管理施設の対策 : 寺内第一樋門、八代水門(2施設)  
 許可工作物への指導・対策: 奈佐川第3樋門(1施設)  
 市管理施設への要請・対策: 向鶴岡川落差工(1施設)

**実施状況**

年度	施設	管理者	年度					
			H27時点	H30時点	R3時点	R4時点	R5時点	R6時点
国管理施設の 落差解消対策	寺内第一樋門 八代水門	豊岡河川国道 事務所	対策済み	対策済み	対策済み	対策済み	対策済み	対策済み
許可工作物に関する 指導・落差解消対策	奈佐川第3樋門	豊岡市	—	—	助言	—	—	—
市管理施設に関する 要請・落差解消対策	向鶴岡落差工	豊岡市	—	—	—	—	—	—
全体対策達成度	4施設		2/4施設 (50%)	2/4施設 (50%)	2/4施設 (50%)	2/4施設 (50%)	2/4施設 (50%)	2/4施設 (50%)



**点検結果**

・国管理施設については、平成26年度までに落差を改善し、モニタリング調査の結果、水田を産卵場とする魚種(フナ類、ナマズ、ドジョウ、タモロコ等)の遡上を確認しており、背後地と直轄管理河川の連続性が確保されている。

令和3年度には、許可工作物の奈佐川第3樋門の管理者に対して落差解消の助言を行った。

・今後は関係機関等と連携し、連続性の面的な広がりを検討していくとともに、円山川自然再生推進委員会の助言を得ながら、管理者に対して落差解消・改善のための助言を行っていく。

点検事項等	モニタリング
点検項目	モニタリング状況(連携)
点検指標	住民やNPOと連携・協働して行うモニタリングの達成度

施策の概要

・工事施工や外来種対策の実施の前後の追跡調査のためモニタリングを行う。モニタリングは住民やNPOと連携・協働して行う。

実施状況

連携・協働して行うモニタリングの実施状況

調査名(場所)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
ツバメの孵入り調査 (円山川下鶴井地区)	・8月9日、8月20日実施 ・下鶴井で約1万6000羽を確認	・8月7日、8月22日実施 ・下鶴井で約2万5000羽を確認	・8月7日、8月21日実施 ・下鶴井で約20,000羽を確認	・8月13日実施 ・下鶴井で約20,000羽を確認	・住民によるモニタリング調査へ移行。 ・8月11日実施 ・下鶴井で約30,000羽を確認
魚類調査 (出石川加陽地区湿地整備箇所)	・9月23日～24日実施 ・定置網による確認数(小学生による) 種類数: 25種	・9月27日～28日実施 ・定置網による確認数(小学生による) 種類数: 25種	・9月28日～29日実施 ・定置網による確認数(小学生による) 種類数: 20種	・9月21日～22日実施 ・定置網による確認数(小学生による) 種類数: 27種	・9月26日～27日実施 ・定置網による確認数(小学生による) 種類数: 26種
イトヨ遡上調査 (円山川下流域)	・3月～5月(週1回) ・3月にイトヨの成魚2個体(オス)を確認	・3月～5月(週1回) ・3月にイトヨの成魚2個体(オス)を確認	・3月～5月(週1回) ・3月にイトヨの成魚2個体(オス)を確認	・3月～5月(週1回) ・3月にイトヨの成魚1個体(オス)を確認	・3月～5月(週1回) ・3月に1個体確認
フジバカマ生育状況調査	・4月25～26日、7月25日、10月2日 ・片間樋門下流右岸にて新たな育成を確認。三木川管理橋周辺においても順調な育成を確認。 ・10月3日に地域と連携した勉強会や観察会を実施。 ・12月19日地元と連携し次年度補植用の苗づくり(株分け: 約500株)を実施。	・4月28日、7月30日、9月29日 ・片間樋門下流右岸にて新たな育成を確認。三木川管理橋周辺も育成を確認。最近では護岸天板にも生育されている。 ・10月2日に地域と連携した勉強会や観察会を実施。 ・12月11日地元と連携し次年度補植用の苗づくり(株分け: 約300株)を実施。	・4月28日、7月23日、9月24日 ・片間樋門下流右岸にて新たな育成を確認。三木川管理橋周辺も育成を確認。最近では護岸天板にも生育されている。 ・9月24日に地域と連携した勉強会や観察会を実施。 ・12月8日地元と連携し次年度補植用の苗づくり(株分け: 約200株)を実施。	・4月21日、22日、7月29日、10月7日 ・三木川管理橋周辺の育成を確認。最近では護岸天板の生育が広がっている。 ・4月21日、22日に豊岡市立中筋小学校、日枝神社に補植を実施。 ・7月29日、10月7日に地域と連携した勉強会や観察会を実施。	・4月27日、8月1日、9月24日 ・三木川管理橋周辺の育成を確認。最近では護岸天板の生育が広がっている。 ・6月29日、10月5日、12月14日に地域と連携した観察会や剪定、株分け作業を実施。



魚類調査(事前学習)



魚類調査(定置網採取)



魚類調査(魚種の確認)



魚類調査(調査結果の発表)



NPOによるイトヨ遡上調査 (R7.3.14)



ツバメの孵入り調査(調査状況)



フジバカマ生育状況(秋季)

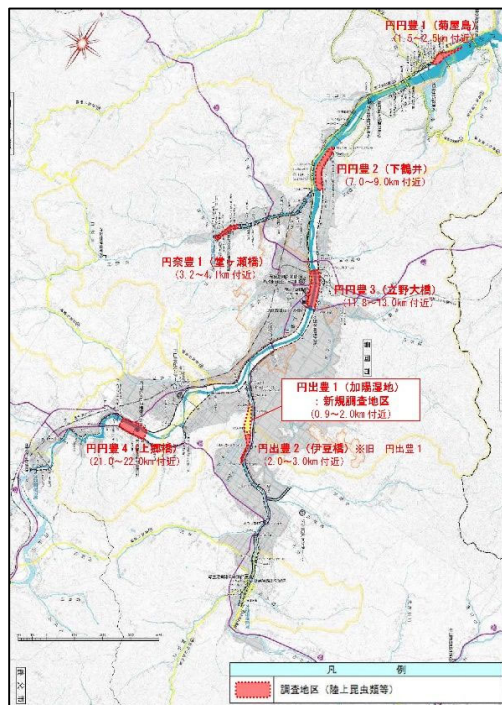
点検結果

- ・令和6年度まで、ツバメの孵入り調査、魚類調査、イトヨ遡上調査、フジバカマ生育状況調査を、住民やNPOと連携・協働でモニタリングを継続実施している。
- ・令和6年度はツバメの孵入り調査を住民によるモニタリング調査へ移行して8月11日に実施し、下鶴井・玄武洞付近で約30,000羽を確認。フジバカマは、三木川管理橋周辺の育成を確認した。6月、10月、12月に地域と連携した観察会や選定、株分け作業を実施した。
- ・今後も、住民やNPOと連携・協働し、魚類調査、フジバカマ生育状況調査を継続実施していく。



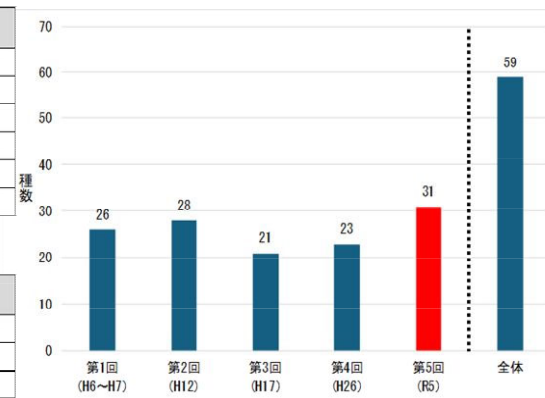
令和5年度

・令和5年度は陸上昆虫類等調査を実施。



トンボ類の着目種の確認状況

No.	種名	前々回 (H17)	前回 (H26)	今回 (R5)	備考
1	ヒヌマイトトンボ	●		●	
2	アオハダトンボ	●	●	●	
3	ホンサナエ	●	●	●	
4	ナゴヤサナエ			●	
5	キイロヤマトンボ				R2底生動物調査で幼虫を確認
計		3種	2種	4種	



重要種の確認種数の経年変化

ハンミョウ類の確認状況と生息環境

No.	種名	前々回 (H17)	前回 (H26)	今回 (R5)	主な生息環境
1	アイヌハンミョウ			●	丸石河原
2	ニワハンミョウ	●	●	●	山間部の溪流
3	コニワハンミョウ	●	●	●	砂地
4	エリザハンミョウ	●	●	●	濡った泥が堆積した場所
計		3種	3種	4種	



ヒヌマイトトンボ  
(環境省：絶滅危惧 I B類)  
(兵庫県レッドデータブック：Bランク)



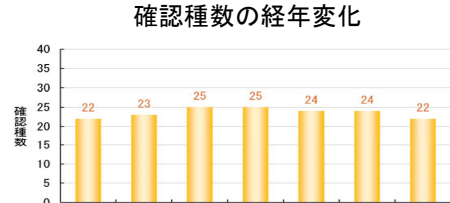
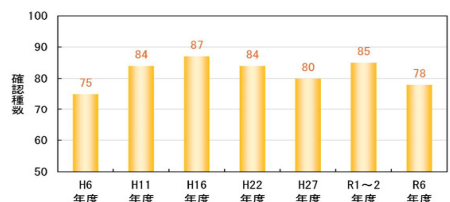
ツマグロキチョウ  
(環境省：絶滅危惧 I B類)  
(兵庫県レッドデータブック：要注目)



ゴイシジミ  
(兵庫県レッドデータブック：Bランク)

令和6年度

・令和6年度は魚類調査を実施。



重要種の経年確認状況

No.	目名	科名	種名	生活型	調査年度						環境省	兵庫県	
					H6年度	H11年度	H16年度	H22年度	H27年度	R1～2年度			R6年度
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	ヒナシナヤツメ	淡水	●	●	●	●	●	●	●	VI	B
2			カワサツメ	河川	●	●	●	●	●	●	●	VI	A
3	カサギ	カサギ	ニホシカサギ	河川	●	●	●	●	●	●	●	IX	C
4	コイ	コイ	ヒメコイ	淡水	●	●	●	●	●	●	●	NT	A
5			オニ	淡水	●	●	●	●	●	●	●	NT	B
6			アブラハヤ	淡水	●	●	●	●	●	●	●	●	C
7			カワヒガイ	淡水	●	●	●	●	●	●	●	NT	C
8			シジノウ	淡水	●	●	●	●	●	●	●	NT	要注付
9	カマズ	カマズ	アサギ	淡水	●	●	●	●	●	●	●	VI	要注付
10	サケ	サケ	キヌクリソウ	河川	●	●	●	●	●	●	●	要調査	
11			シラウオ	河川	●	●	●	●	●	●	●	NT	A
12	サケ	サケ	サケ	河川	●	●	●	●	●	●	●	要調査	
13			オコエ	河川	●	●	●	●	●	●	●	NT	要調査
14	トガクオ	トガクオ	ニホシイトヨ	河川	●	●	●	●	●	●	●	LP	A
15	ダツ	メダカ	メダカ	淡水	●	●	●	●	●	●	●	VI	B
16			サヨリ	汽水・海	●	●	●	●	●	●	●	NT	A
17	スズキ	カサガリ	カサガリ	河川	●	●	●	●	●	●	●	VI	B
18			オコエ	汽水・海	●	●	●	●	●	●	●	IX	B
19			イソギンポ	汽水・海	●	●	●	●	●	●	●	要調査	
20			ハゼ	汽水・海	●	●	●	●	●	●	●	NT	C
21			シロウオ	河川	●	●	●	●	●	●	●	NT	A
22			シホブリ	汽水・海	●	●	●	●	●	●	●	要調査	
23			ヒメコイ	汽水・海	●	●	●	●	●	●	●	要調査	
24			オコエ	汽水・海	●	●	●	●	●	●	●	要調査	
25			シホブリ	淡水	●	●	●	●	●	●	●	NT	要調査
26			シホブリ	河川	●	●	●	●	●	●	●	要調査	
27			カサガリ	河川	●	●	●	●	●	●	●	C	
28			ヒメコイ	淡水	●	●	●	●	●	●	●	NT	B
29			オコエ	汽水・海	●	●	●	●	●	●	●	IX	A
30			オコエ	汽水・海	●	●	●	●	●	●	●	VI	A
合計	8目	14科	30種	-	22種	23種	25種	24種	24種	23種	19種	29種	



カネヒラ  
(兵庫県レッドデータブック：Bランク)



カワヒガイ  
(環境省：準絶滅危惧)  
(兵庫県レッドデータブック：Cランク)



ジュズカケハゼ  
(環境省：準絶滅危惧)  
(兵庫県レッドデータブック：Bランク)

点検結果

- ・河川水辺の国勢調査は、令和6年度まで継続して実施してきた。
- ・令和4年度には両生類・爬虫類・哺乳類調査を実施、令和5年度には陸上昆虫類等調査を実施、令和6年度には魚類調査を実施した。
- ・今後も河川水辺の国勢調査を活用して、長期的なモニタリングを継続して実施する。

点検事項等	河川景観の保全
点検項目	写真撮影状況
点検指標	定点写真による河川景観の変化の把握状況(シンボル)

**施策概要**  
 ・現在残されている円山川の特徴的な自然環境が織りなす景観を円山川のシンボルとして位置付け、保全等を行う。

**実施状況**

※現在残されている円山川の特徴的な自然環境が織りなす景観が、保全されているかを確認できるよう、ポイントを固定し経年的な変化を記録(写真)に残す。

【撮影地点】①鳥居橋上流左岸の山裾  
 ②上郷、野々庄の河畔林  
 ③下鶴井のヨシ原、ワンド、河畔林  
 ④堀川橋付近のヨシ原、河畔林  
 ⑤ひのそ島、戸島、楽々浦の山々を背後にした水域景観



<p>①鳥居橋上流左岸の山裾</p> <p>山裾の樹林は保全されている。</p>	<p>②上郷、野々庄の河畔林</p> <p>河畔林は保全されている。</p>	<p>③下鶴井のヨシ原、ワンド、河畔林</p> <p>ヨシ原、ワンド、河畔林は保全されている。</p>	<p>④堀川橋付近のヨシ原、河畔林</p> <p>ヨシ原、河畔林は保全されている。</p>	<p>⑤ひのそ島、戸島、楽々浦の山々を背後にした水域景観</p> <p>山々を背後にした水域景観は保全されている。</p>
--	--	---	---	---

**点検結果**  
 ・令和3年度まで、円山川のシンボルとして位置づけている景観は、大きな変化はなく保全されていることを確認してきた。  
 ・令和4年度～令和6年度も、シンボリックな景観は保全されていることが確認できた。  
 ・今後も引き続き、保全に努めていく。

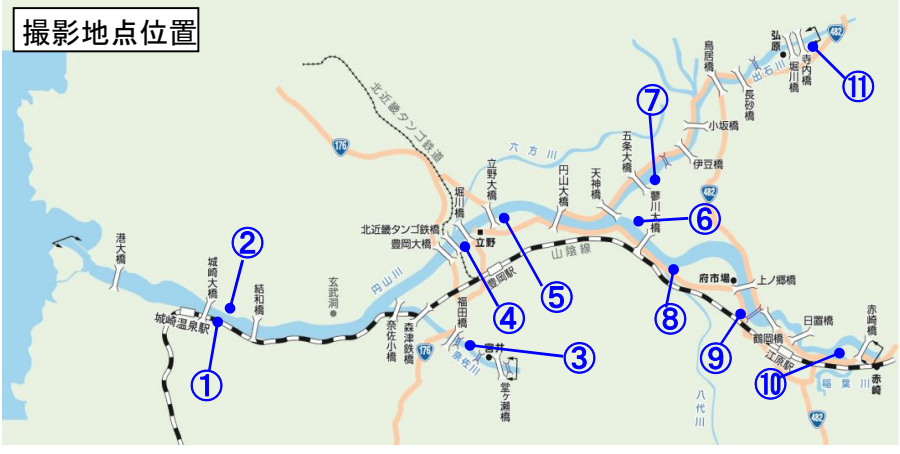
点検事項等	河川景観の保全
点検項目	写真撮影状況
点検指標	定点写真による河川景観の変化の把握状況(事業箇所)

実施状況

※工事を行った箇所について、周辺の河川景観に馴染んできたかを確認できるよう、ポイントを固定し経年的な変化を記録(写真)に残す。

【撮影地点】

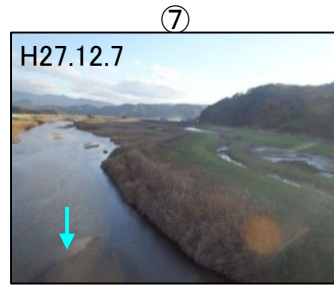
- ①下流部無堤対策(ひの其他地区特殊堤整備:円山川4.0k左岸)
- ②下流部無堤対策(戸島地区築堤:円山川4.6k右岸)
- ③堤防質の強化対策(栃江地区堤防整備:奈佐川3.6k右岸)
- ④⑤湿地再生(質的改良:円山川12.0k左岸④、13.2k左岸⑤)
- ⑥堤防質の強化対策(加陽地区:円山川17.0k右岸)
- ⑦湿地再生(大規模湿地:加陽地区五条大橋上流)
- ⑧連続性確保(八代水門落差解消)
- ⑨堤防質の強化対策(土居地区護岸整備:円山川22.6k左岸)
- ⑩上流部無堤対策(岩中地区左岸築堤護岸工事:円山川25.6k左岸)
- ⑪連続性確保(寺内第1樋門落差解消)



①	②	③	④	⑤
<p>完成後(H27.6.4撮影)</p>	<p>完成後(H27.7.14)</p>	<p>完成後(H26.3.28)</p>	<p>完成後(H27.4.2)</p>	<p>完成後(H26.3.6)</p>
<p>R6.12.7撮影</p>	<p>R6.12.7撮影</p>	<p>R6.12.7撮影</p>	<p>R6.4.18撮影</p>	<p>R5.5.31撮影</p>
<p>第1段階整備実施済み。今後予定している県道嵩上げにより車中からの眺めは改善される。</p>	<p>堤防裏法尻の裸地が植生に覆われてきており、周辺景観に馴染んでいる。</p>	<p>堤内地の裸地が植生に覆われてきており、周辺景観に馴染んでいる。</p>	<p>周辺景観に馴染んでいる。</p>	<p>周辺景観に馴染んでいる。</p>



周辺景観に馴染んでいる。



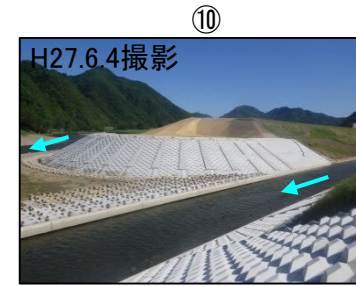
ワンド水際部の裸地が植生に覆われてきており、周辺景観に馴染んでいる。



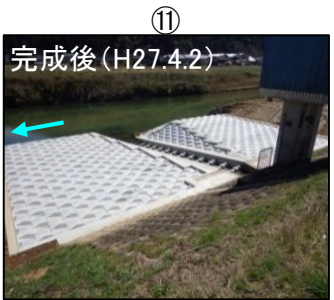
構造物の明度が落ち、周辺景観に馴染んでいる。



法面の裸地が植生に覆われてきており、周辺景観に馴染んでいる。



工事完成後7年経過し、周辺景観に馴染んでいる。



工事完成後7年経過し、周辺景観に馴染んでいる。

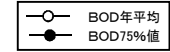
点検結果

- ・令和3年度まで、工事を行った個所が周辺景観に馴染んでいるかを把握してきた。
- ・令和4年度～令和6年度も周辺景観と馴染んでいるかの把握を継続して実施し、良好な景観を維持していることを確認した。
- ・引き続き、河川景観の保全に必要な配慮ができているかを確認するために、定点写真による河川景観の変化を把握していく。

点検事項等	河川水質
点検項目	水質観測地点のBOD
点検指標	水質観測地点における環境基準の達成度

施策の概要

・河川水質の保全のため、定期的な水質観測を継続して水質の変化傾向を把握し、悪化の兆候が認められた場合には関係機関等と連携して現況の良好な水質の維持に努める。  
 ・水質観測地点：5地点（港大橋、結和橋、立野、弘原、府市場）において、BOD75%値を環境基準値以下とする。

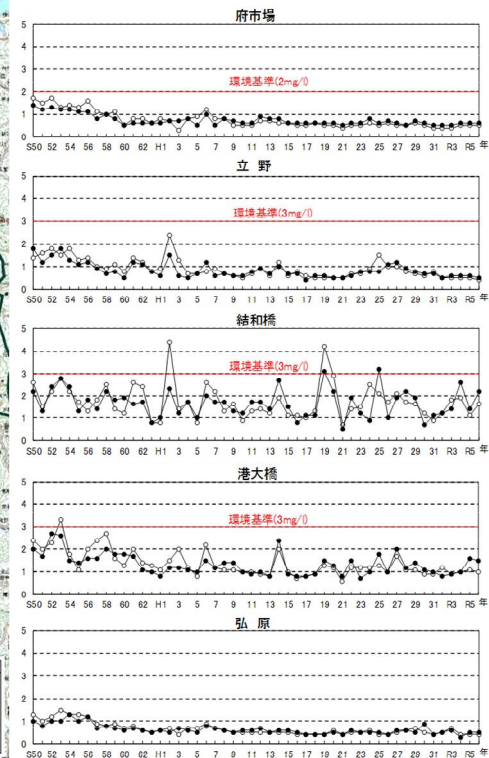
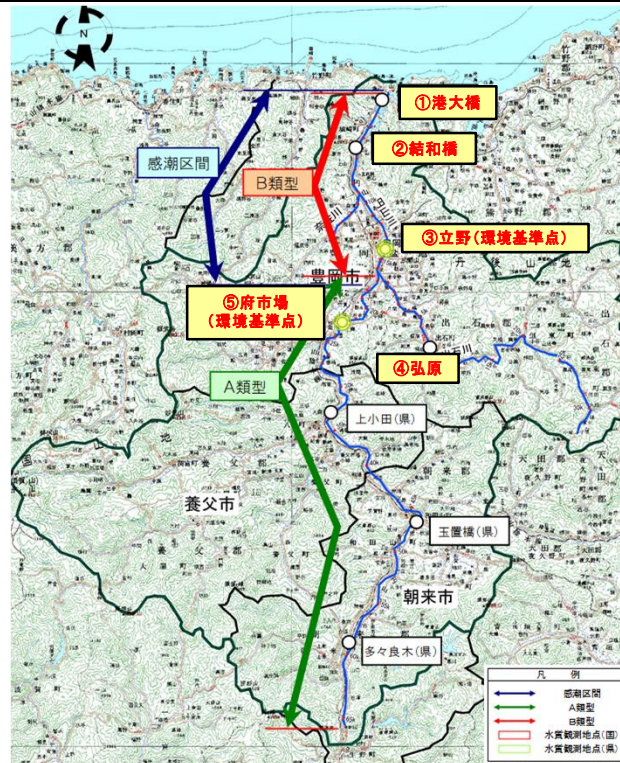


実施状況

○環境基準の達成度  
 ※河川水質の保全のため、定期的に水質観測を継続して実施している。

年度	環境基準の達成状況
H25	結和橋地点でBOD75%値が3.2と、環境基準値を若干上回っており、5地点中4地点で環境基準達成(80%)
H26~H27	全地点で環境基準達成(100%)
H28~H30	全地点で環境基準達成(100%)
R1~R3	全地点で環境基準達成(100%)
R4~R6	全地点で環境基準達成(100%)

※弘原(出石川)は類型指定されていないが、合流地点と同じA類型相当(環境基準値2mg/l)として評価



点検結果

- ・平成26年度～令和3年度まで、円山川直轄管理区間の水質監視を実施してきたが、全地点で環境基準値を達成している。
- ・令和4年度～令和6年度も、全観測地点において、水質汚濁の指標であるBOD(75%値)は環境基準値未満である。
- ・今後も適切な水質保全に努め、継続して水質調査を行い水質監視を行っていく。

点検事項等	水生生物調査
点検項目	小学校等との協働状況
点検指標	小学校等との協働による水生生物調査の実施回数

施策の概要

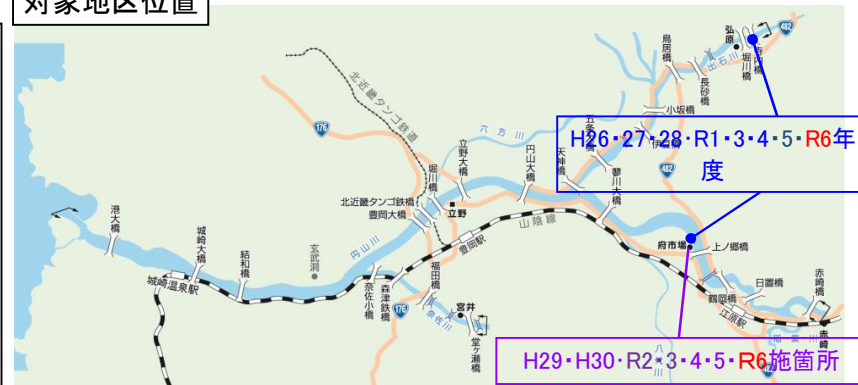
・川に親しみながら河川の水質を判定する水生生物調査を、河川愛護の醸成も兼ねて小学校等と協働して継続的に実施する。

実施状況

○小学校等との協働による水生生物調査の実施状況

年度	実施回数	実施日	参加人数	内容
H26～H27	延べ5	—	延べ197名 (延べ小学校数 7校)	・円山川上ノ郷橋下流右岸側 ・出石川寺内橋下流左岸側
H28～H30	延べ4	—	延べ110名 (延べ小学校数 5校)	・円山川上ノ郷橋下流右岸側 ・出石川寺内橋下流左岸側
R1～R3	延べ5	—	延べ137名 (延べ小学校数 7校)	・円山川上ノ郷橋下流左岸側 ・出石川寺内橋下流
R4	2	①6月16日 ②6月17日	①16名(福住小学校3年生)、 先生2人、NPO法人コウノトリ 市民研究所2名、事務所職員、 調査指導業者 ②29名(府中小学校3年生)、 先生3人、NPO法人コウノトリ 市民研究所2名、事務所職員、 調査指導業者	①出石川寺内橋下流左岸側、河川の状況(気温、水温、水の臭い)、水生生物調査、【水質階級Ⅰ(きれいな水)】 ②円山川上郷橋下流左岸側、河川の状況(気温、水温、水の臭い)、水生生物調査、【水質階級Ⅰ(きれいな水)】
R5	2	①6月5日 ②6月22日	①11名(福住・寺坂小学校3年生)、 先生3人、NPO法人コウノトリ 市民研究所1名、事務所職員、 調査指導業者 ②27名(府中小学校3年生)、 先生4人、NPO法人コウノトリ 市民研究所2名、事務所職員、 調査指導業者	①出石川寺内橋下流左岸側、河川の状況(気温、水温、水の臭い)、水生生物調査、【水質階級Ⅰ(きれいな水)】 ②円山川上郷橋下流左岸側、河川の状況(気温、水温、水の臭い)、水生生物調査、【水質階級Ⅰ(きれいな水)】
R6	2	①6月3日 ②6月4日	①18名(福住小学校3年生)、 先生2人、NPO法人コウノトリ 市民研究所2名、事務所職員、 調査指導業者 ②27名(府中小学校3年生)、 先生2人、NPO法人コウノトリ 市民研究所2名、事務所職員、 調査指導業者	①出石川寺内橋下流左岸側、河川の状況(気温、水温、水の臭い)、水生生物調査、【水質階級Ⅰ(きれいな水)】 ②円山川上郷橋下流左岸側、河川の状況(気温、水温、水の臭い)、水生生物調査、【水質階級Ⅰ(きれいな水)】

対象地区位置



きれいな水に生息する生物が多く生息していることを確認できました。



チームに分かれて採集した水生生物を分類しました。



採集した生物から出石川はきれいな水だと分かりました。



採取した生物から円山川はきれいな水だと分かりました。



点検結果

- ・令和6年度まで、小学校の生徒とともに年間1～3回の水生生物調査を実施している。
- ・今後も、小学校等との協働による水生生物調査を継続していく。

点検事項等	水質事故
点検項目	関係機関との協議状況、水質事故訓練状況
点検指標	①「円山川を美しくする協議会」開催の達成度 ②水質事故訓練の達成度

**施策の概要**

- ・水質事故発生時において、「円山川を美しくする協議会」を構成する関係機関等に速やかに通報して、下流への被害の拡散を防止する。
- ・日頃から関係機関との連携を緊密にするとともに、河川巡視を継続して事故の早期発見と適切な対処に努め、水質事故管理体制の強化や水質事故訓練等を実施する。

**実施状況**

①「円山川を美しくする協議会」開催の達成度(目標年1回)  
 ※水質事故の未然防止の取り組みや発生時の円滑な対応のために、「円山川を美しくする協議会」を開催する。  
 ※協議内容:水質事故訓練、不法投棄パト等の年間行事予定を決定。

年度	実施回数	実施日	備考
H25~H27	延べ3	—	各年1回
H28~H30	延べ3	—	各年1回
R1	1	4月24日	—
R2~R3	延べ2	書面開催	新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から書面開催
R4~R5	延べ2	—	—
R6	1	5月21日	—

②水質事故訓練の達成度(目標年1回)

年度	実施回数	実施日	備考
H25~H27	延べ3	—	各年1回
H28~H30	延べ2	—	H30は11/28に計画していたが、水質事故のため中止
R1~R3	延べ3	—	—
R4~R5	延べ2	—	水質事故を想定した情報伝達訓練を実施
R6	1	11月21日	水質事故を想定した情報伝達訓練を実施



円山川を美しくする協議会の協議状況(R6年度)



水質事故訓練の状況(R6年度)

**点検結果**

- ・整備計画策定以降、令和6年度まで継続して①協議会を年1回開催し(令和2・3年度は書面開催)、②水質事故訓練も年1回実施してきた。
- ・今後も引き続き協議会を開催し、継続して水質事故訓練(目標の年1回)を実施していく。

点検事項等	水質事故
点検項目	水質事故状況
点検指標	①水質事故発生回数 ②事故時の関係機関への対応状況

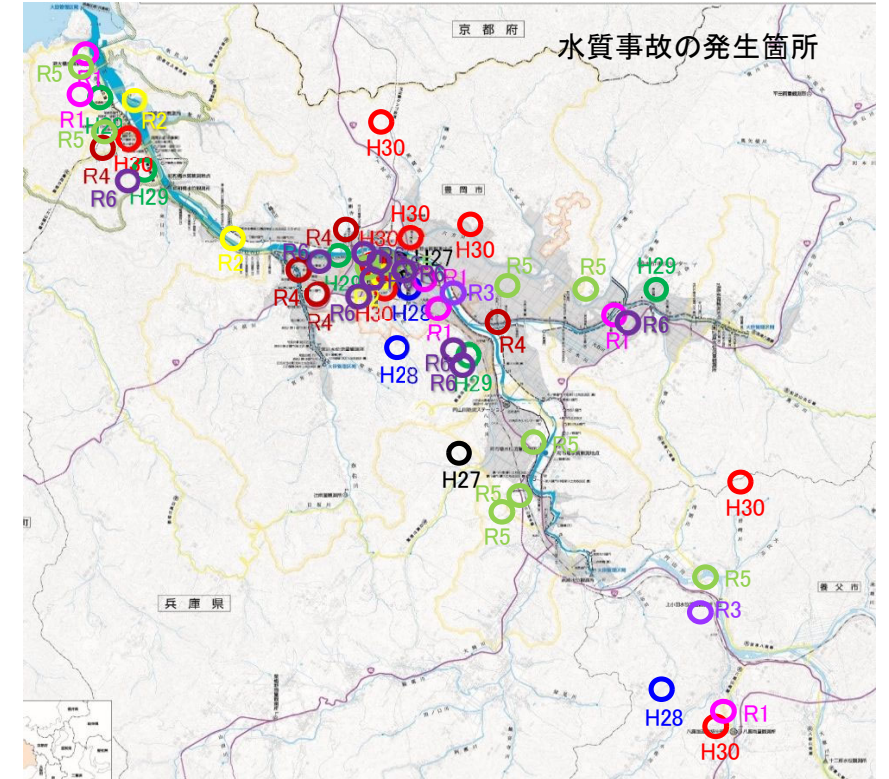
**施策の概要**  
 ・水質事故発生時には、関係機関等に速やかに通報するとともに、適切な箇所にオイルフェンスや吸着マットなどを設置して下流への被害の拡散を防止する。

**実施状況**

○水質事故の発生回数と対応状況

年度	水質事故の発生回数	事故時の対応状況
H26～H27	延べ 2	オイルフェンス等による対応を実施
H28～H30	延べ 20	オイルフェンス等による対応を実施
R1～R3	延べ12	オイルフェンス等による対応を実施
R4	7	オイルフェンス等による対応を実施
R5	12	オイルフェンス等による対応を実施
R6	17	オイルフェンス等による対応を実施

※水質事故時には、「円山川を美しくする協議会」を構成する兵庫県、豊岡市等の関係機関に連絡、通報を行うとともに、オイルフェンスや吸着マットなどを設置し、下流への被害の拡散を防止する。



図外: 朝来市内 H29 2箇所 H30 1箇所 R4 2箇所 養父市内 H30 1箇所 R3 1箇所 R6 1箇所

**点検結果**

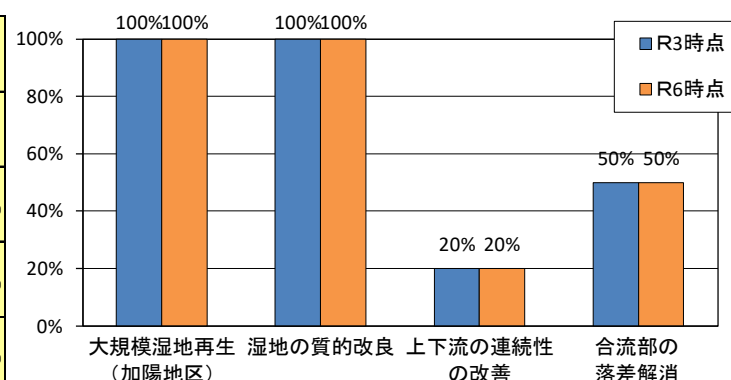
- ・令和3年度までに、延べ34回の水質事故が発生したが、その都度、速やかな対応を実施してきた。
- ・令和4年度～令和6年度は延べ36回水質事故が発生したが、関係機関に連絡・通報することで迅速に対応出来たため、被害を最小限におさえられた。
- ・水質事故に対しては、今後も引き続き迅速な対応に努める。

点検事項等	環境対策全体
点検項目	特徴的な自然環境や湿地環境の保全・再生及び河川の連続性確保
点検指標	特徴的な自然環境や湿地環境の保全・再生及び河川の連続性確保の各進捗率

点検結果

①環境対策全体の進捗状況

環境対策	計画		H25時点		H27時点		H30時点		R3時点		R6時点	
	単位	数量	実施済	進捗率	実施済	進捗率	実施済	進捗率	実施済	進捗率	実施済	進捗率
大規模湿地の再生 (加陽地区)	整備面積 (ha)	7.2	3.3	46%	6.6	92%	7.2	100%	7.2	100%	7.2	100%
湿地の質的改良	計画延長 (m)	2,370	180	8%	280	12%	1,220	51%	2,370	100%	2,370	100%
上下流の連続性の改善	施設数 (基)	5	0	0%	1	20%	1	20%	1	20%	1	20%
合流部の落差解消 (国管理施設・許可工 作物・市管理施設)	施設数 (基)	4	0	0%	2	50%	2	50%	2	50%	2	50%



湿地環境の再生に関する事項 河川の連続性確保に関する事項

まとめ

- ・「湿地の質的改良」が令和元年度に完了した。
- ・「上下流の連続性の改善」「合流部の落差解消」については、今後も魚道の検討・設置・改善のタイミングで施設管理者へ助言を行う。今後も、モニタリング結果を評価・分析し、円山川自然再生委員会等の意見も踏まえながら、順応的に整備を実施していく。

点検事項等	堤防、護岸等の管理
点検項目	堤防点検状況
点検指標	堤防点検の予定回数に対する達成度

施策の概要

・定期的な点検（堤防及び河道点検、安全利用点検）や出水後等、必要に応じて実施する。  
 ※堤防、護岸等の維持状況の確認等を目的として、右表に示す区間について定期的な点検を実施（点検回数は河川維持管理計画等に従う）

対象河川	円山川	出石川	奈佐川	合計
管理延長 (km)	27.7	8.7	4.7	40.5

実施状況

年度	堤防及び河道点検		堤防及び河道点検で異常が見つかった件数	安全利用点検		安全利用点検で異常が見つかった件数	対応
	実施回数	時期		実施回数	時期		
H25～H27	延べ12回	出水期前、出水期後等	延べ 45	延べ6回	ゴールデンウィーク前、夏休み前	延べ 4	立入禁止柵とロープ設置 袋詰玉石設置等
H28～H30	延べ11回	出水期前、出水期後等	延べ 32	延べ6回	ゴールデンウィーク前、夏休み前	延べ 5	石の組み直し、碎石投入 注意喚起の看板設置等
R1～R3	延べ6回	出水期前、出水期後	延べ27	延べ5回	ゴールデンウィーク前、夏休み前	延べ 5	伐木、天端補修、法面補修、 注意喚起看板の修繕等
R4	2回	出水期前、出水期後	8	2回	出水期前、夏休み前	6	注意喚起看板の修繕・設置・ 周辺の除草等
R5	2回	出水期前、出水期後	12	2回	出水期前、夏休み前	5	注意喚起看板及び立ち入り 防止対策の修繕
R6	2回	台風期前、出水期後	63	2回	出水期前、夏休み前	18	注意喚起看板の修繕等

安全利用点検の状況



(対応事例)

護岸の補修 補修前



補修中



補修後



点検結果

- ・令和3年度までは、定期的な点検を実施し、変状個所があった場所はその対応を実施してきた。
- ・令和4年度～令和6年度は、堤防点検（河道点検は出水期前に堤防点検とあわせて実施）を年2回、安全利用点検を年2回実施し、変状等の対策が必要な個所については補修等を行った。
- ・今後も引き続き点検を行っていくとともに、変状が認められた場合は速やかに対応していく。

点検事項等	堤防、護岸等の管理
点検項目	巡視状況
点検指標	巡視予定回数に対する達成度

**施策の概要**

- 河川管理施設の変状の確認、河川区域における違法行為の発見を目的として、河川巡視を実施する。(巡視回数は各年度の年間巡視計画に従う)
- 平常時河川巡視(車両):週2回(年間105回)
- 平常時河川巡視(船舶):月2回(年間24回)、出水期は週1回(年間10回)

**実施状況**

各年度の河川巡視結果・内訳

巡視項目	年度別												
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
河川区域における違法行為の発見数	304	266	274	249	169	126	68	50	83	201	178	130	
河川管理施設等の変状の確認数	393	424	550	440	547	573	562	496	679	726	663	553	

車両による巡視の状況

UAVによる巡視の状況

写真 | コメント | フラップゲートの確認(異常なし) 8.4kg・22付送

巡視により発見した違法行為・変状等の状況・対応

発見状況

対応前

対応状況

対応後

**点検結果**

- 令和3年度まで車両および船舶による平常時巡視を実施してきており、施設の変状等を確認した場合は状態に応じた補修を行ってきた。
- 令和4年度以降も車両及び船舶による変状巡視を行い、令和6年度は車両による平常時巡視104回、UAVによる平常時巡視5回を行った。巡視による違法行為の発見数は平成25年度から減少傾向にあったが、令和4年度は増加したものの令和5,6年度は減少傾向にある。施設等の変状の確認数は概ね500件程度で推移していたが、令和3,4年度は増加したものの令和5,6年度は減少傾向にある。
- 今後も、河川施設・河川環境の維持管理のため、引き続き平常時河川巡視と出水期巡視を実施していく。

点検事項等	堤防除草
点検項目	堤防除草状況、コスト縮減状況
点検指標	①堤防除草の予定回数に対する達成度 ②コスト縮減の取り組み状況

施策の概要

- ・堤防の変状確認のため、除草を実施する(堤防除草:年2回)
- ・刈草や集草にあたっては、遠隔操作式除草機械の活用等、コスト縮減に取り組む

実施状況

実施内容 (計画値)	年度別進捗状況・実施状況					
	H25~H27	H28~H30	R1~R3	R4	R5	R6
堤防除草:年2回 (出水期前、出水期後)	5月と10月の2回実施	5月と10月の2回実施	5月と10月の2回実施	5月と10月の2回実施	5月と10月の2回実施	5月と10月の2回実施
コスト縮減:除草に際して のコスト縮減策や、刈草の 処分に際してのコスト縮減 策に取り組む	(内容省略)	(内容省略)	・遠隔操作式除草機械による除草を実施した。 ・刈草の処分費削減率100%	・遠隔操作式除草機械による除草を実施した。 ・刈草の処分費削減率100% (地元農家への配布98.0%、処分2%) 遠隔操作式 除草費のコスト縮減額:約18.7百万円 刈草配布 処分費のコスト縮減額:約1.6百万円	・遠隔操作式除草機械による除草を実施した。 ・刈草の処分費削減率100% (地元農家への配布97.7%、処分2.3%) 遠隔操作式 除草費のコスト縮減額:約20.9百万円 刈草配布 処分費のコスト縮減額:約2.2百万円	・遠隔操作式除草機械による除草を実施した。 ・刈草の処分費削減率100% (地元農家への配布98.2%、処分1.8%) 遠隔操作式 除草費のコスト縮減額:約20.8百万円 刈草配布 処分費のコスト縮減額:約1.6百万円



ハンドガイド式除草状況



遠隔操作式除草状況



刈草ロール化・積み込み状況



刈草の搬出状況

点検結果

- ・令和3年度までに堤防点検のための堤防除草を年2回(5月と10月)実施してきた。コスト縮減は、遠隔操作式除草機械の使用、刈草の地元農家への配布により取り組んできた。
- ・令和4年度以降も堤防除草を年2回実施した。令和6年度は、①堤防除草を出水期前、出水期後の2回実施し、②コスト縮減としては遠隔操作機使用により除草費29%縮減、刈草配布等により処分費100%縮減を図ることができた。
- ・今後も引き続き、刈草の安定的な受入先の確保や公募方法・内容などを検討し、コスト縮減に取り組みながら堤防点検のための堤防除草を適切に進めていく。

点検事項等	河川管理施設の管理
点検項目	点検状況、長寿命化計画の作成状況
点検指標	①定期点検の予定回数に対する達成度 ②長寿命化計画作成の進捗率

施策の概要

- ①土木構造物部分の点検：年1回以上、機械設備及び電気通信施設の点検：年19回
  - ・河川管理施設(堤防、河道を除く)の点検は、年1回以上とする。
  - ・排水機場、水門、樋門樋管等の機械設備については、年1回以上の点検を行う。
  - ・水門、樋門については、年点検に加え、月点検を原則として1回/月(4月、11月～3月)、2回/月(5月～10月)実施。
- ②長寿命化計画作成対象施設：27施設

実施状況

①施設の点検

点検の種類	点検施設	年度別施設数											
		H25～H27の合計		H28～H30の合計		R1～R3の合計		R4		R5		R6	
		予防保全段階	措置段階	予防保全段階	措置段階	予防保全段階	措置段階	予防保全段階	措置段階	予防保全段階	措置段階	予防保全段階	措置段階
土木構造物点検	天端、表法、管渠等	0	0	0	1	10	4	5	2	8	4	4	4
機械設備点検	ゲート設備、ポンプ設備等	67	0	68	0	61	0	14	0	25	0	10	0
電気設備点検	受変電設備、CCTV設備等	14	0	10	19	17	1	2	0	19	0	1	0
計		81	0	78	20	88	5	21	2	52	4	15	4

※ 予防保全段階：機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から対策を実施することが望ましい状態  
措置段階：措置が必要な段階

②長寿命化計画の作成

年度	H24以前	H25	H26	H27(完了)
長寿命化計画の策定数	7	11	6	3
累計	7	18	24	27

※ 平成27年度に全施設の長寿命化計画策定完了



扉体主ローラ回転点検



開閉装置点検



機側操作盤点



受変電設備点



CCTV設備点検



コンクリートの欠損、鉄筋の露出腐食を発見

河川管理施設の点検状況

点検結果

- ①河川管理施設の点検は、「国土交通省 河川砂防技術基準 維持管理編(河川編)」に基づき、令和3年度まで継続して実施してきた。
- ②長寿命化計画の作成は平成27年度に完了している。
- 令和6年度は①河川管理施設の点検を実施した結果、予防保全段階計15件、措置段階計4件を判定した。
- 今後も引き続き、河川管理施設の管理を実施していくとともに、施設点検による結果を踏まえたうえで、施設の更新を図っていく。

点検事項等	河川管理施設の管理
点検項目	研修会・訓練等の開催状況
点検指標	研修会や訓練の実施回数

**施策の概要**  
 ・出水時円滑に樋門・排水機場の操作、伝達が出来るよう樋門等操作員講習会・操作訓練を実施している。

**実施状況**

○水門・樋門及び排水機場等の操作員等に対する研修会、訓練の実施

年度	実施回数	実施日と内容
H25~H27	延べ11	—
H28	3	1)5月30日 2)6月 9日 3)6月14日
H29	3	1)5月30日 2)6月 9日 3)6月12日
H30	3	1)5月30日 2)6月 8日 3)6月7日
R1	3	1)5月30日 2)6月 7日 3)5月21日
R2	2	1)書面開催 2)6月 4日
R3	4	1)5月27日 操作員等に対する研修会(樋門等操作員講習会) ※新任の方のみ対面で実施。他の方は書面で実施。 2)6月 4日 排水機場・樋門において操作員の操作訓練実施(新任の方がいる3樋門では指導付き) 3)6月10日~15日 複数の樋門において直営操作訓練実施 4)6月22日 遠隔操作にて豊岡樋門、豊岡排水機場切替ゲートの直営操作訓練実施
R4	4	1)5月26、30日 操作員等に対する研修会(樋門等操作員講習会) 2)6月 3日 排水機場・樋門において操作員の操作訓練実施 3)6月6~9日 複数の樋門において直営操作訓練実施 4)6月17日 遠隔操作にて豊岡樋門、豊岡排水機場切替ゲートの直営操作訓練実施
R5	3	1)5月30日 水門等水位観測員講習会 2)6月 7日、9日 遠隔操作システムの操作訓練(事務所職員) 3)6月21日 災害対策機械操作訓練
R6	3	1)5月4日 排水訓練 2)5月24日 樋門等操作員講習会 3)11月21日 水質事故対応研修会

排水訓練の様子 (R6.5.4)

樋門等操作員講習会の様子 (R6.5.24)

**点検結果**

- 令和4年度まで、出水時の確実な対応を行うために、毎年出水期前に水門・樋門及び排水機場等の樋門等操作員に対する講習会・訓練を実施してきた。
- 令和5年度は、樋門等操作員の講習会を実施し、職員による遠隔操作訓練を2日に分けて実施した。また、災害対策機械操作の訓練も実施した。
- 令和6年度は、樋門等操作員に対する講習会を実施するとともに、遠隔化された樋門について、職員による遠隔操作訓練を実施した。
- なお、樋門等操作員による操作訓練は出水のための中止、また、災害対策機械の操作訓練を6月に実施した。
- 今後も引き続き、操作員等に対する講習会・訓練を実施し、出水時に水門・樋門及び排水機場等の確実・適切な操作を行う。

点検事項等	河川管理施設の管理
点検項目	遠隔監視・操作化の状況、無動力化の状況
点検指標	①遠隔監視・操作化の達成度 ②無動力化の達成度

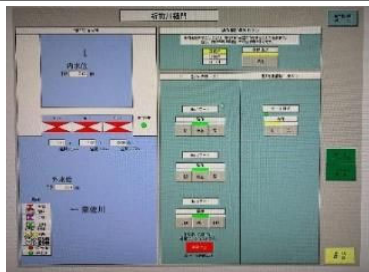
施策の概要

・洪水・高潮等発生時に迅速かつ的確な操作を行うため、河川管理施設の遠隔監視化を29施設で行っており、その中でも特に操作回数の多い11施設で遠隔操作化(機側操作のバックアップ)を行っている。また、無動力化を3施設(城崎第5樋管、寺内第2樋門及び寺内第1樋門:フラップゲート)で行っている。

実施状況

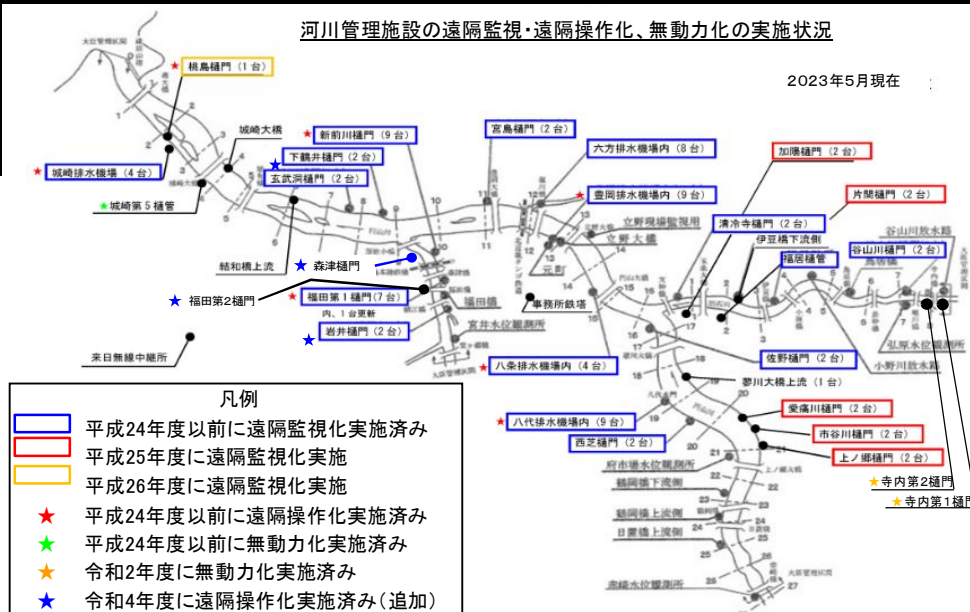
実施内容 (計画値)	進捗状況・実施内容						
	H24以前	H27時点	H30時点	R3時点	R4時点	R5時点	R6時点
遠隔監視化 (22施設)	16施設	22施設 (H26完了)	(完了)	(完了)	(完了)	(完了)	(完了)
遠隔操作化 (7施設)	7施設 (完了)	(完了)	(完了)	(完了)	(完了)	(完了)	(完了)
遠隔操作化 (16施設)	※人員不足の状態を鑑みR4年度に検討した結果、16施設を追加				4施設 (累計4)	0施設 (累計4)	0施設 (累計4)
無動力化	1施設 (累計1)	(累計1)	(累計1)	2施設 (累計3)	(累計3)	(累計3)	(累計3)

樋門開閉の遠隔操作画面



※令和4年度には、下鶴井、森津、福田第2及び岩井の4施設について、遠隔操作化を実施した。

河川管理施設の遠隔監視・遠隔操作化、無動力化の実施状況



点検結果

- ①河川管理施設の遠隔監視・操作化は、特に操作回数の多い施設について平成26年度に完了(平成27年度から令和3年度は対応なし)。
- ②無動力化は、令和2年度に追加で2施設を実施した。③令和4年度に、人員不足の状態を鑑み遠隔操作化の対象に16施設を追加した。
- 今後も引き続き機能保持のため施設の維持管理を行いつつ、①遠隔監視・操作化を検討するとともに、②無動力化については限られた予算配分の中で順次対応していく。

点検事項等	河道内樹木の管理
点検項目	樹木伐開量、伐開樹木の利用状況
点検指標	①樹木伐開の達成度 ②伐開樹木の有効利用状況

施策の概要

・洪水時に流下能力阻害となる樹木について輪伐する。伐開した樹木の有効利用を図る。

実施状況

実施内容	年度別進捗状況・実施状況							
	H26	H28	H29	H30	R1~R3	R4	R5	R6
洪水時に流下能力阻害となる樹木について輪伐する	53,400m <sup>2</sup>	93,210m <sup>2</sup> (内93,200m <sup>2</sup> 間伐)	15m <sup>2</sup> (公募伐採 【公募面積 556,000m <sup>2</sup> 】)	14m <sup>2</sup> (公募伐採 【公募面積 148,000m <sup>2</sup> 】)	135,800m <sup>2</sup> (内39m <sup>2</sup> 公募 伐採)	2,100m <sup>2</sup>	64,450m <sup>2</sup>	18,300m <sup>2</sup>

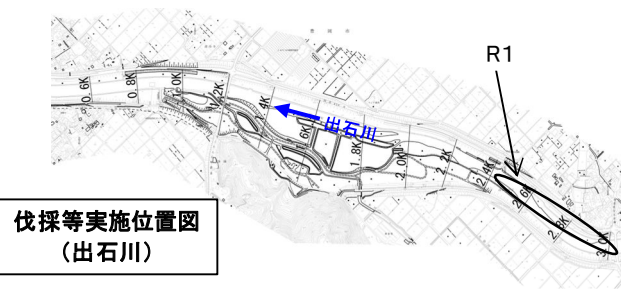
※平成25年度、27年度は伐開無し。 ※公募伐採は、実伐採を木1本につき1m<sup>2</sup>として計算している。



伐開前

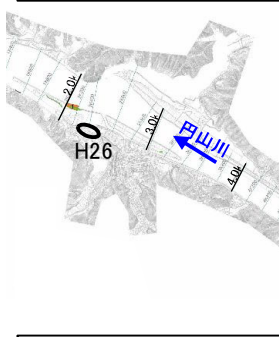


伐開後

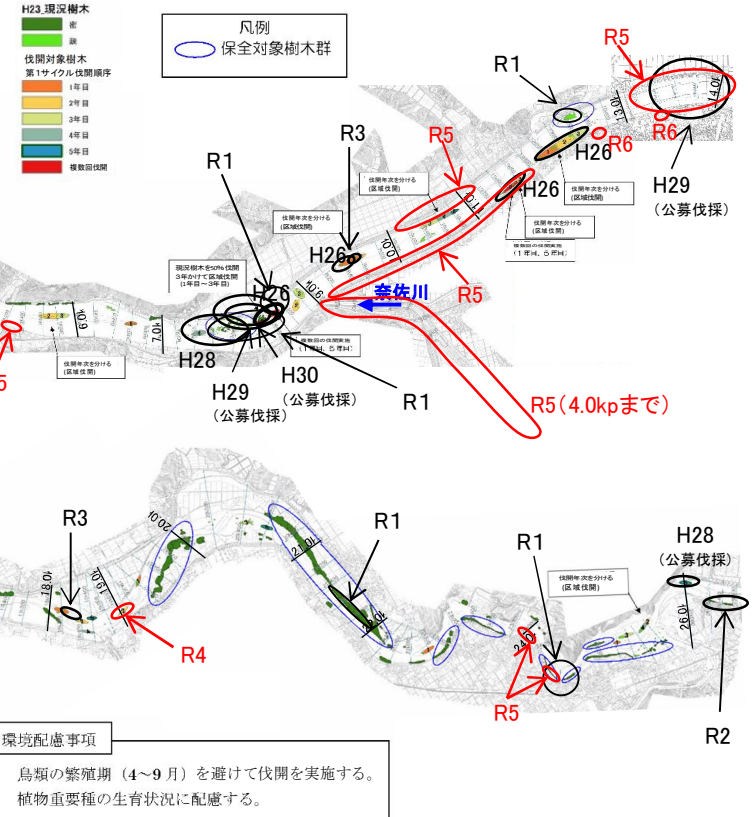
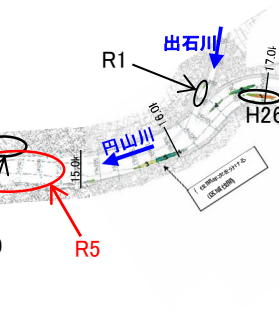


伐採等実施位置図 (出石川)

伐採等実施位置図 (円山川 下流～中流)



伐採等実施位置図 (円山川 中流～上流)



環境配慮事項

- ・鳥類の繁殖期（4～9月）を避けて伐開を実施する。
- ・植物重要種の生育状況に配慮する。

点検結果

- ・①平成26～令和3年度の累計伐開は約284,539m<sup>2</sup>で、②うち78m<sup>2</sup>は樹木の有効活用を図るため公募伐採を実施した。
- ・令和6年度は、円山川の3箇所で開催し、計18,300m<sup>2</sup>の樹木伐開を行った。また、伐採木の採取の公募を行い、希望者に対して18.1tの採取の許可を行った。
- ・今後も計画的に樹木伐開を実施するとともに、公募伐採や伐採樹木の採取にかかる公募を行っていく。

点検事項等	河道内堆積土砂の管理
点検項目	堆積土砂撤去量、モニタリング状況
点検指標	①定点写真による河川景観の変化の把握状況 ②堆積土砂撤去の進捗率

施策の概要

- ①定期横断測量、定点写真によるモニタリングを実施する。
- ②流下能力阻害となる場合は必要に応じて河道内堆積土砂の撤去を実施する。

実施状況

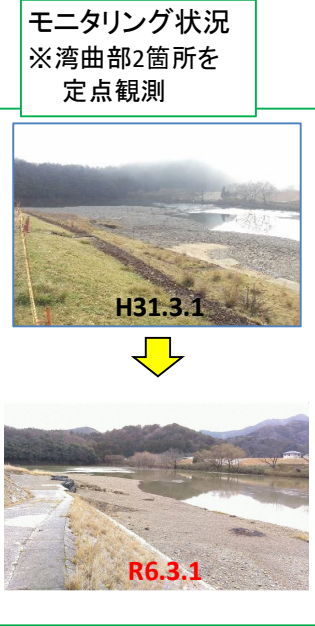
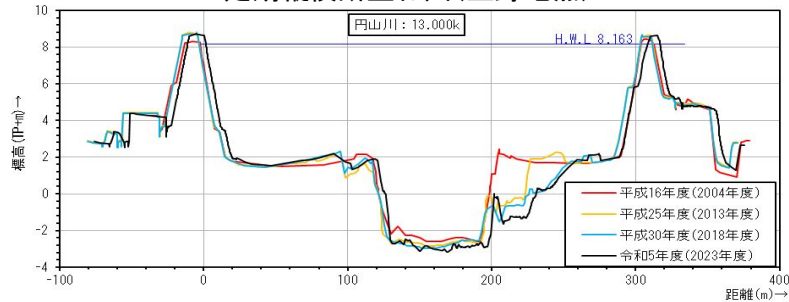
①モニタリング状況

年度	実施状況	
	定期的なモニタリング	モニタリング結果
H25~H27	H25に実施 月1回程度、河川巡視にて定点写真による堆積状況確認。	現状では土砂堆積は見られない。
H28~H30	H30に実施 月1回程度、河川巡視にて定点写真による堆積状況確認。	H307豪雨にて再堆積している。
R1~R2	実施なし 月1回程度、河川巡視にて定点写真による堆積状況確認。	現状では更なる堆積は見られない。
R3	実施なし 月1回程度、河川巡視にて定点写真による堆積状況確認。	現状では更なる堆積は見られない。 下流側の定点観測地点の堆積土砂は撤去した。
R4	実施なし 月1回程度、河川巡視にて定点写真による堆積状況確認。	現状では更なる堆積は見られない。 下流側の定点観測地点の堆積土砂は撤去した。
R5	実施なし 月1回程度、河川巡視にて定点写真による堆積状況確認。	現状では更なる堆積は見られない。 堆積が確認できた場合は適宜対応する。
R6	実施なし 月1回程度、河川巡視にて定点写真による堆積状況確認。	現状では更なる堆積は見られない。 堆積が確認できた場合は適宜対応する。

②堆積土砂撤去状況

年度	実施状況
H25~H27	H26に奈佐川3.68k~3.96kの河道堆積土砂5,500m <sup>3</sup> の撤去
H28~H30	H28に円山川25.3k~25.9kの河道堆積土砂51,200m <sup>3</sup> の撤去
R1	・円山川18.5k~19.1kの河道堆積土砂4,000m <sup>3</sup> 撤去 ・奈佐川0k~4kの河道堆積土砂8,100m <sup>3</sup> の撤去 ・出石川1.2k~3k、5.2k~8.6kの河道堆積土砂32,200m <sup>3</sup> の撤去
R2	実施なし
R3	・円山川2.0k~2.2kの河道堆積土砂15,000m <sup>3</sup> 撤去 ・円山川18.2k~18.4kの河道堆積土砂4,500m <sup>3</sup> 撤去 ・円山川15.1k~17.3kの河道堆積土砂27,300m <sup>3</sup> 撤去 ・円山川23.8k~24.7kの河道堆積土砂57,200m <sup>3</sup> 撤去
R4	・円山川2.2k~2.4kの河道堆積土砂16,500m <sup>3</sup> 撤去
R5	実施なし
R6	・出石川右岸5.6kの河道堆積土砂5,200m <sup>3</sup> 撤去 ・円山川左岸18.8k(八代水門)の水門吐口土砂1,200m <sup>3</sup> の撤去 ・円山川右岸8.8k(下鶴井樋門)の樋門吐口土砂150m <sup>3</sup> の撤去

定期縦横断重ね図(立野地点)



点検結果

- ・①測量は平成25、30年度、令和5年度に、定点写真のモニタリングは平成27~令和6年度に実施した。
- ・②堆積土砂の撤去は平成26、28年度、令和1、3、4、6年度に実施した。(令和4年度は16,500m<sup>3</sup>、令和6年度は6,550m<sup>3</sup>の堆積土砂を撤去。)
- ・今後もモニタリングを継続し、必要に応じて堆積土砂の撤去を実施する。

点検事項等	不法行為等の防止
点検項目	啓発活動実施状況
点検指標	不法投棄防止等のための啓発活動の実施回数

施策の概要

・「円山川を美しくする協議会」と連携したパトロールや河川愛護月間の啓発活動を実施する。

実施状況

- 1) 平成25年度～令和6年度において、河川愛護月間の活動として、7月1日から1ヶ月間、のぼり等の設置、近隣の小学校に河川愛護のポスター掲示の依頼、広報誌への掲載などを実施。
- 2) 平成25年度～令和6年度において、「円山川を美しくする協議会」と連携したパトロールを実施。

○「円山川を美しくする協議会」と連携したパトロールの実施状況  
(パトロール箇所:円山川本川、支川)

年度	パトロール実施日	参加者数
H25～H27	(計2回)	(延べ62)
H28～H30	(計3回)	(延べ88)
R1～R3	(計3回)	(延べ85)
R4	11月20日	22
R5	11月21日	26
R6	11月14日 11月20日	29



パトロールの様子(R6.11.20)



パトロールの様子(R6.11.20)



不法投棄の状況(R6.11.20)

令和6年度のパトロール及び不法投棄の状況  
(令和6年11月20日 箇所:円山川本川・支川)

点検結果

- ・平成25年度以降、「円山川を美しくする協議会」の参加関係機関とで、年1回の連携した取り組みを実施してきた。
- ・令和6年度も官民が連携した合同パトロールを2日にかけて実施した。また河川愛護月間の活動として、7月1日から1ヶ月間、事務所、出張所、管内土木事務所、市役所等にのぼりを掲出するとともに、近隣の小学校に河川愛護ポスターの掲示を依頼した。また、養父市・朝来市の広報誌への掲載も行った。
- ・今後も「円山川を美しくする協議会」と連携した取り組みを行っていく。

点検事項等 防災情報の提供

点検項目 情報提供状況

点検指標 ①情報提供状況 ②洪水予報連絡会(委員会・幹事会)の開催回数、円山川大規模氾濫に関する減災対策協議会の開催

施策の概要

- ・関係機関や一般住民に水防警報や洪水予報等、適切な情報提供を継続して実施していく。
- ・洪水予報連絡会などの関係団体との連携を強化する。また、有効な情報提供のあり方について関係機関と連携のうえ検討する。

実施状況

①水防警報や洪水予報等の情報提供状況

年度	水防警報		洪水予報	
	豊岡市への伝達数	伝達日	豊岡市への伝達数	伝達日
H25～H27	延べ 9	—	延べ 2	—
H28～H30	延べ 10	—	延べ 4	—
R1～R3	延べ 2	—	0	—
R4	0	—	0	—
R5	1	8月15～16日	1	2024年8月15日
R6	1	11月2日	0	—

○ HP、You tube 及び SNS やチラシでの情報提供：水位、雨量、河川ライブカメラ

②洪水予報連絡会の開催状況

年度	開催数	洪水予報連絡会	内容
H30	1	委員会・幹事会合同	最近の局地的な豪雨への対応等について協議した。 ・平成29年台風21号の出水概要について ・防災気象情報の活用について ・川の防災情報等について
R1～R3	3	委員会・幹事会合同	各年の出水概要、新たな法改正や最新の観測技術等を共有し、最近の局地的な豪雨への対応等について協議した。
R4	1	委員会・幹事会合同	最近の局地的な豪雨への対応等について協議した。 ・令和3年度の出水概要について ・洪水予報の運用の更新について ・防災気象情報の改善策と取組について ・河川情報の提供について(市町村向け 川の防災情報)
R5	1	委員会	連絡会の運営について決議し、水防に関する情報共有を行った。 ・令和4年度 事業報告、令和5年度 事業計画(案)について ・令和4年度の振り返りと令和5年度の出水等について ・防災気象情報の改善に係る取組について ・河川情報センターからの情報提供 ほか
R6	1	委員会・幹事会合同	連絡会の運営について決議し、水防に関する情報共有を行った。 ・令和5年度 出水の振り返り ・令和6年度に実施する防災気象情報の改善について ・河川情報センターからの情報提供 ・令和6年度 事業概要

令和6年度の洪水予報連絡会の実施状況 (Web会議併用 R6.6.4)



円山川大規模氾濫に関する減災対策協議会

減災対策協議会は、平成27年9月の関東・東北豪雨を受けて、円山川における堤防決壊等の大規模な浸水被害に備え、隣接する国、県、市等が連携して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的かつ計画的に推進することにより、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的とする。

年度	開催日	開催回数	内容
H30	6月5日	第4回	・減災対策協議会 幹事会の報告について ・円山川の減災に係る取組方針に基づいた「平成29年度取組結果及び平成30年度取組予定」について
R1～R3	5月	第5～7回	・円山川の防災に係る取組方針に基づいた取組結果及び取組予定について ほか
R4	5月24日	第8回	・10年間のスケジュール実施の際の課題・調整事項について ・メモリアル防災学習会について ・住民ワークショップについて ・防災啓発資料作成(住民向け)について ・タイムラインの更新について ・円山川下流部の治水事業について
R5	7月12日	第9回	・円山川大規模氾濫に関する減災対策協議会規約の改正 ・円山川大規模氾濫に関する減災対策協議会 幹事会の報告 ・令和4年度の取組報告及び令和5年度の取組予定 ほか
R6	5月20日	第10回	・円山川大規模氾濫に関する減災対策協議会 幹事会の報告 ・円山川の減災に係る取組方針に基づいた報告 「令和5年度の取組報告及び令和6年度の取組予定」 ・各機関からの連絡事項

減災対策協議会の実施状況(R6.5.20)



点検結果

- ・令和5年度まで、①水防警報を延べ22回、洪水予報を延べ7回伝達し、②洪水予報連絡会において関係機関との連携を強化してきた。
- ・令和6年度は、①水防警報は1回情報提供を行い、②洪水予報連絡会は1回開催し、洪水予報の運用の更新、防災気象情報の改善策と取組等について協議した。また、第10回減災対策協議会も開催し、国、県、市で減災のための連携を図った。
- ・今後も引き続き、関係団体との連携を強化しながら、防災情報の提供を確実・適切に実施していく。

点検事項等	危機管理対策
点検項目	地域住民や自治体との連携状況
点検指標	防災学習会、地域防災マップづくりワークショップ開催の達成度

施策の概要

- ・豊岡市と連携し、平常時から防災意識を高めるための防災学習会の開催を支援する。
- ・豊岡市と連携し、地域防災マップづくりワークショップの開催を支援する。
- ・防災の職務に携わる方を中心とした講演会を開催し、防災意識の向上を支援する。

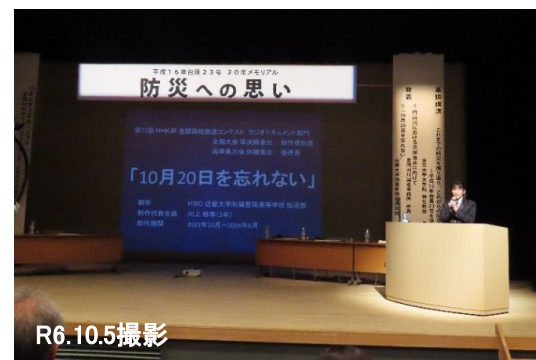
実施状況

年度	水防災に係る広報・啓発活動	開催数	時期	場所・地区	参加者
H27	防災学習会	1回	10月18日	豊岡市民プラザ	200名
	地域防災マップづくりワークショップ	延べ 4回	6~2月	小田井区ほか	延べ 111名
H28~H30	防災学習会	延べ 3回	10~11月	豊岡市民プラザ	延べ 600名
	地域防災マップづくりワークショップ	延べ 8回	6~10月	国府地区ほか	延べ 290名
R1~R3	防災学習会	延べ3回	10~11月	豊岡市民プラザ (ライブ配信)	延べ 456名 (延べ 642名 配信視聴者)
	地域防災マップづくりワークショップ	延べ7回	6~12月	城崎地区ほか	延べ 307名
	防災講演会	延べ1回	11月	リモート配信	延べ 57名
R4	防災学習会	1回	10月22日	豊岡市民プラザ (ライブ配信)	64名 (406名 配信視聴者)
	地域防災マップづくりワークショップ	2回	①9月3日 ②12月17日	①港地区 ②合橋地区	①30名 ②48名
R5	防災学習会	1回	11月11日	①じばさんTAJIMA ②ライブ配信	①98名 ②159名
	地域防災マップづくりワークショップ	1回	1月20日	小坂地区	54名
R6	防災学習会	1回	10月5日	豊岡市民プラザ	170名
	地域防災マップづくりワークショップ	未実施	-	-	-

防災学習会 本会場の様子



防災学習会ラジオドキュメント発表の様子



点検結果

- ・令和3年度までの毎年、防災学習会(延べ参加者数2,220名、配信視聴者1,341名)と住民ワークショップ(延べ参加者数767名)を開催してきた。
- ・令和4年度以降も、防災学習会(述べ参加者数332名、配信視聴者565名)と住民ワークショップ(述べ参加者数132名)を開催した。
- ・今後も住民ワークショップや防災学習会等を継続し、住民の方への情報提供や防災マップ作成の手法を提示していくことで地域防災力の向上を目指す。

点検事項等	河川空間の利用
点検項目	看板等による情報提供状況、広報等の取り組み状況
点検指標	①看板設置の達成度 ②その他の取り組み

**施策の概要**

・情報提供用の看板を新規事業箇所(瀬戸地区、津居山地区、鶴岡地区、日置地区、中郷遊水地)などに設置する。

**実施状況**

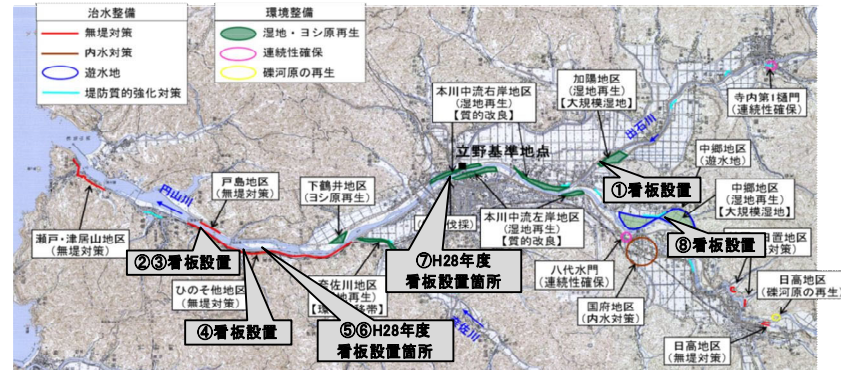
①情報提供用の看板設置

・看板設置6地区(累計:8箇所、右図①~⑧)

年度	新規	更新	累計
H24~H27	4	1	4
H28~H30	3	0	7
R1~R3	0	0	7
R4	1	0	8
R5	0	0	8
R6	0	0	8

②河川愛護ポスター掲示

年度	依頼数	依頼累計	備考
H25~H27	51	51	近隣小学校
H28~H30	99	150	近隣小学校・中学校
R1~R3	113	263	近隣小学校・中学校
R4	32	295	近隣小学校・中学校
R5	32	327	近隣小学校・中学校
R6	31	358	近隣小学校・中学校



**点検結果**

- ・令和3年度までに、情報提供用の看板を累計7箇所、河川愛護ポスターを延べ263箇所に掲示してきた。
- ・令和4年度以降は新規の看板設置を1箇所、河川愛護ポスターは93箇所に掲示した。
- ・今後も事業の進捗を踏まえ、情報提供用看板を追加設置していくとともに、河川愛護ポスターの掲示、HPやX(旧Twitter)による情報発信を行っていく。

点検事項等	河川空間の利用
点検項目	河川の利用状況
点検指標	①河川の利用者数 ②河川空間の利用状況

施策の概要

- ①「河川水辺の国勢調査(河川空間利用実態調査編)」(概ね5年に1回)より、利用形態別の年間空間利用者数を整理する。
- ②利用申請を行っているもの(工事車両の駐車や交通量調査等、業務のための利用は除く)で、毎年調査を実施する。

実施状況

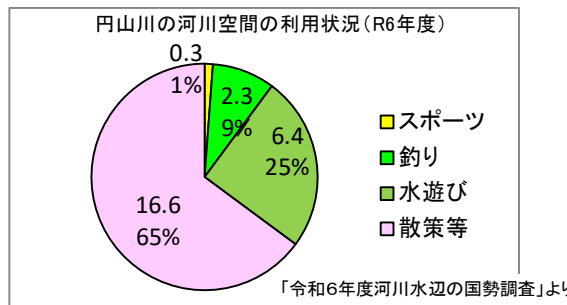
①河川の利用者数(「河川水辺の国勢調査(河川空間利用実態調査編)」)

	年度	利用者数	内訳			
			スポーツ	釣り	水遊び	散策等
整備計画策定前	H21	16.1(万人)	6.0(万人)	3.2(万人)	1.2(万人)	5.7(万人)
			37%	20%	8%	35%
整備計画策定後	H26	29.2(万人)	9.0(万人)	1.3(万人)	1.6(万人)	17.3(万人)
			31%	4%	6%	59%
	R元	30.2(万人)	0.3(万人)	5.8(万人)	6.5(万人)	17.6(万人)
			1%	19%	22%	58%
R6	25.6(万人)	0.3(万人)	2.3(万人)	6.4(万人)	16.6(万人)	
			1%	9%	25%	65%



②河川空間の利用状況(令和6年度の主な利用申請)

- ・スポーツ: 競漕競技大会(5/24-5/26、5/31-6/2、10/4-10/7)
- ・その他 : 柳まつり花火大会(7/28-8/5)  
「城崎温泉2024夏物語」夢花火(7/16-8/26)  
一・二級・特殊小型船舶操縦士実技講習及び  
実技試験消防訓練(4/13~R7/3/31のうち数日)



点検結果

- ・ ①令和元年では、平成30年に中郷地区にあった運動公園が堤外に移設されたため、スポーツ利用者は減少したがその他の利用者は増加した。
- ・ ②河川空間の利用申請は平成30年度まで継続的に行われてきた。
- ・ ①整備計画による堤防整備や高水敷の環境整備が行われたことにより、整備計画策定前に比べて散策等の利用が増加している。
- ・ ②河川空間の利用については、令和6年度では競漕競技大会や花火大会等の申請があった。
- ・ 今後も、河川及び河川空間の利用状況を確認し、河川環境と社会環境との調和のとれた適正な利用が続けられるように支援を継続していく。

点検事項等 コウノトリの野生復帰への取り組み

点検項目 関係機関や地域住民との連携状況

点検指標 ①コウノトリ野生復帰推進連絡協議会参加の達成度 ②地域住民との連携の達成度

施策の概要

- ・コウノトリの野生復帰への流域での取り組みであるコウノトリ野生復帰推進連絡協議会へ参加し関係機関や地域との連携を強める。
- ・流域全体の自然環境を向上させる取り組みの一環として、地域住民との連携事業を実施する。

実施状況

①コウノトリ野生復帰推進連絡協議会参加の状況

毎年2回実施(近年は、新型コロナ感染防止の観点から書面開催も実施)

・R6.8.6開催、R7.3.7開催

農協、消費者団体、NPO法人、行政機関等での協議会により、コウノトリに関する取り組みについて意見交換がなされた。

②地域住民との連携の達成度(目標:年間1回)

「加陽湿地まつり」

(主催:加陽地区、共催:豊岡市、豊岡河川国道事務所)

・H26年から実施。H26~H27: 延べ参加者数 約750名

・H28~H30: 延べ参加者数 約1,150名

・R1.11.3開催:参加者数 約600名

生きもの調査や災害対策車の試乗のほか、加陽湿地や出石川に生息する生きものの展示や地元の農産物等の販売、おむすび早食い競争や餅まき、SUPボードや木エクラフトを実施。

・R2~4年度 コロナウィルス感染症対策により開催中止。

・R5.11.5開催:参加者数 約600名

災害対策車の試乗のほか、加陽湿地や出石川に生息する生きもののパネル展示や野草クラフト体験、地元の農産物等の販売、おむすび早食い競争や餅まきを実施。

・R6年度は大雨の影響により中止

協議会と加陽湿地まつりの実施達成度

年度		H25	H26~H27	H28~H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
コウノトリ野生復帰推進 連絡協議会	目標	2	延べ4	延べ6	2	2	2	2	2	2
	実施	2	延べ4	延べ6	2	2	2	2	2	2
	達成度	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
加陽湿地まつり	目標	—	延べ2	延べ3	1	1	1	1	1	1
	実施	—	延べ2	延べ3	1	0	0	0	1	0
	達成度	—	100%	100%	100%	0%	0%	0%	100%	0%
計		2	延べ6	延べ9	3	2	2	2	3	2



R6.8.6撮影

コウノトリ野生復帰推進連絡協議会の状況

点検結果

- ・毎年「コウノトリ野生復帰推進連絡協議会」2回と「加陽湿地まつり」1回を通じて、関係機関や地域住民との連携を深めてきた。コウノトリ野生復帰に向けた取り組みが行われるなかで、流域レベルのエコロジカルネットワークの形成に向けて、河川を基軸とした環境の保全と多様性の再生・創出を行っている。
- ・今後も引き続き、協議会や地域の祭りを通じて、関係機関や地域住民と連携し、意思疎通を図っていく。

点検事項等 河川愛護活動

点検項目 アダプト制度の導入状況

点検指標 ①アダプト活動参加団体数 ②アダプト制度を導入しての美化清掃活動や愛護活動の状況

施策の概要

・円山川を美しくする協議会や地域住民、関係機関等と連携を図り、アダプト制度(※)の導入等によって美化清掃活動や愛護活動等を継続する。  
 ※地域住民やNPO、民間等の自発的な美化活動を行政が支援し、行政と住民等がパートナーとなって美しい河川環境をつくり出そうとする制度。

実施状況

①アダプト活動参加団体

○団体数

平成26～27年度迄：1団体  
 平成28～令和6年度：なし

○アダプト制度を適用した美化清掃活動や愛護活動の状況

平成25～27年度において、清掃美化活動が実施された。  
 平成28～令和6年度：活動なし

②その他の団体

○河川協力団体：加陽地区づくり委員会

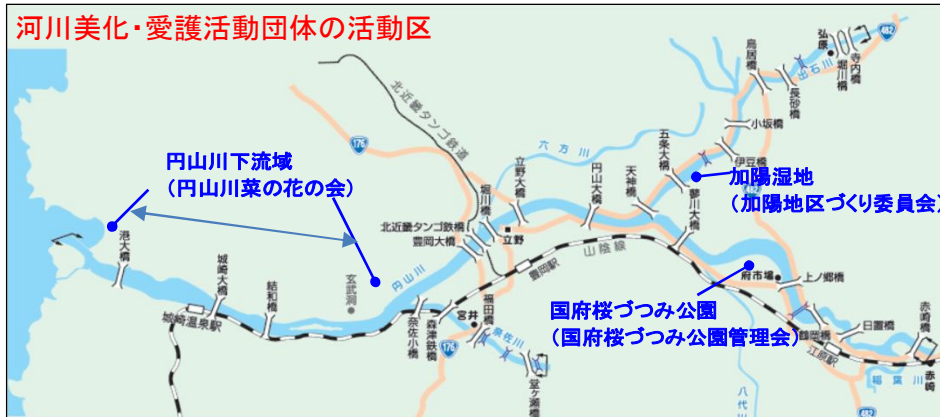
令和6年度において、外来種駆除、生物モニタリング調査へ参加した。

○河川美化、愛護活動を実施されている主な団体

- ・円山川菜の花の会 (円山川清掃活動 4月)
- ・国府桜つつみ公園管理会 (草刈り作業 5月、7月、10月)

③河川愛護活動等への表彰

○円山川を美しくする協議会で、円山川流域において河川美化、愛護活動に功績のあった団体・個人を表彰している。



年度	H25～H27	H28～H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
表彰数	延べ2団体 延べ2個人	延べ4団体	1団体	1団体	1団体	なし	なし	なし
(累計)	延べ2団体 延べ2個人	延べ6団体 延べ2個人	7団体 2個人	8団体 2個人	9団体 2個人	9団体 2個人	9団体 2個人	9団体 2個人

点検結果

- ・①アダプト活動参加団体は平成26～27年度は1団体となっている。
- ・②平成29年度以降は加陽地区づくり委員会が河川協力団体として指定され、外来種駆除、モニタリング調査等を実施している。
- ・③令和6年度までに、河川美化、愛護活動に功績のあった延べ9団体、2個人を表彰してきた。
- ・今後も引き続き、美化清掃活動の継続に協力・参加していくとともに、河川美化、愛護活動に功績のあった団体・個人への表彰を実施していく。

# 6. 進捗状況の整理

整備メニュー（ハード対策）		H25～R14（整備期間概ね20年間）		R6末時点での整備状況
		H25～R4	R6末 R5～R14	
治水整備	中郷遊水地（下池）	→		（下池）掘削54%、圍繞堤92%、越流堤整備完了
	中郷遊水地（上池）	→		（上池）掘削62%、圍繞堤39%
	上流部無堤対策			
	日置地区	→		（日置地区）用地買収が完了、堤防整備86%
	鶴岡地区	→		（鶴岡地区）用地買収76%、堤防整備33%
	日高地区	→ R4暫定完成	→	（日高地区）R4時点で暫定堤防整備が完了
	下流部無堤対策			
	ひの其他地区	→ 築堤完成 道路嵩上げ		（ひの其他地区）堤防整備94%、道路嵩上げ4%
	戸島地区	→ H27完成		（戸島地区）H27時点で完成
	瀬戸・津居山地区		→	（瀬戸・津居山地区）整備未着手
内水対策（国府地区）	→ 対策について県・市と協議		R6に兵庫県によりサイフォン改良実施	
堤防強化対策	→ H27完成		H27時点で完了	
環境整備	ヨシ原再生（下鶴井地区）	→ R3完成	→ モニタリング	R3末に整備完了、その後モニタリング調査を実施中
	大規模湿地（加陽地区）	→ H27完成	→ モニタリング	H27末に整備完了、その後モニタリング調査を実施中
	環境の再生・保全（中郷遊水地）		→ 治水整備の状況に合わせて整備を実施	モニタリング 下池の流入樋門の整備完了
	湿地の質的改良（円山川）	→ R1完成	→ モニタリング	R1末に整備完了、その後モニタリング調査を実施中